



第 34 号

聖心インターナショナル

2015-2016

第一部

\* 目次 \*

			Page
くじらぐもへのてがみ (教科書「くじらぐも」から)	2年 まや	Maya	1
	2年 あびげいる	Abigail	1
	2年 ゆうき	Yuki	1
	2年 衣織	lori	1
	2年 波美	Nami	2
	2年 凜奈	Linna	2
	2年 星托雅	Xingtuoya	2
	2年 友紀	Youki	2
	2年 ひかる	Hikaru	2
	2年 ありん	Arin	3
	2年 さくらこ	Sakurako	3
	2年 蛍	Hotaru	3
	2年 じゅん	June	3
	2年 咲弥	Saya	3
	2年 めい	Sierra May	4
	2年 カヨウ	Karen	4
	2年 まりな	Marina	4
ゆめを かなえる まほうの どうぐ (教科書「あったらいいな こんなもの」より)	3年 華実	Hanami	5
	3年 あんり	Anri	5
	3年 ソフィ ゆら	Sophie	6
	3年 汐羅	Sera	6
	3年 恵麻	Emma	7
	3年 和花	Amelia Waka	7
	3年 春花	Haruka	8
わたしについて	4年 はな	Hana	8
	4年 陽美	Harumi	9
わたしと日本語	4年 里渚	Rina	10
わたしのすきなかもく	4年 えみり	Emily	10
私の好きな科目	4年 美穂	Miho	11
一番好きなきせつ	4年 あかね	Akane	11
	4年 かれん	Karen	12
	4年 エレノア	Eleanor	12
じこしょうかいとわたしのしょうらい	5年 アンナ	Anna	13
	6年 マヤ	Mya	13
はいく	5年 ジョージア	Georgia	14
	5年 ロゼール	Roselle	14
	5年 ビビエン	Vivien	14
	5年 イリーナ	Irina	14
	5年 イシータ	Ishita	14
	6年 ジャナ	Jana	14
おはなしをつくる	6年 スヒョン	Su Hyeon	15
	6年 リトゥ	Rithu	15
	6年 レビカ	Revika	15
豆太へのてがみ (教科書「モチモチの木」より) 日記より	6年 ジュウン	June	16
ふるさと	5年 真央	Mao	16
悲しかったこと	5年 彩雅	Ayaka	17
大切なもの	5年 千瑛	Chie	17
	5年 ジョニ	Jonie	18
私たちの日本語 (教科書「天気を予想する」の構成をまねて)	6年 真央	Mao	18
	6年 美波	Lei	18
	6年 光紀	Mitsuki	18
	6年 こころ	Cocoro	18
	6年 里紗	Risa	18
につき	8年 ナタリー	Nathalie	20
	7年 モエラ	Moera	20
	8年 ケイティ	Katie	20

お話を作る	8年 ジャシнта	Jacinta	21
	7年 ギャビー	Gabrielle	21
おはなし	8年 ジャニス	Jae Eun	22
	7年 タニヤ	Tanya	22
	7年 アリーシャ	Misaki Allysha	22
5年前の3月11日	8年 ハルシタ	Harshita	23
	8年 エミリー	Emily	23
	8年 ヴィッキー	Victoria	24
	8年 ナオミ	Naomi	24
「やまなし」「イーハトーブの夢」から学んだこと 仕事の見方を変えてみる (教科書「ちょっと立ち止まって」より)	7年 真矢	Maya	25
往復書簡(「坊ちゃん」の学習より)	8年 花	Hana	26
わたし	8年 エルノ	Elna	27
	10年 エイラ	Ayla	28
	9年 イヴォンヌ	Yu-Wen	28
	9年 ミナ	Mina	29
	9年 ダヨン	Dayeon	29
日本とマレーシア	10年 アビー	Abigail	30
日本語VS中国語	9年 カルメン	Carmen	30
トルクメニスタンについて	10年 ジェレン	Jeren	31
おもしろいけん(日本語スピーチより)	10年 マヤ	Maya	31
	9年 えり	Aeri	32
	9年 ジェネヴィー	Genevie	33
しょう来のゆめ	10年 きあら	Ciara	34
	10年 ユンジェ	Yoon Jae	34
	10年 美夜	Mia	35
視点を変えてみれば(教科書「ちょっと立ち止まって」より)	9年 珠里	Juli	36
	10年 彩	Sae	36
夢一夜(夏目漱石「夢十夜」より)	10年 チェサピーク	Chesapeake	37
	9年 英里香	Erika	38
豊かな言葉(短歌創作)	9年 ニコル	Nicole	39
	9年 花衣沙	Kaisa	39
	9年 史織	Shiori	40
	10年 彩佑	Ayu	40
私の『おくのほそ道』			
熱海(日本)	10年 ソオデウィ	Saw Dewi	41
ラスベガス(アメリカ合衆国)	10年 悠那	Yuna	41
パリ(フランス)	10年 真未	Mami	42
インド	10年 花蓮	Karen	43
さくらを詠む	12年 ペイジ	Paige	44
	11年 サンウー	Sunwoo	44
	12年 ジェシカ アンチア	Jessica An-Chia	44
	12年 シドニー	Sydney	44
私の好きなところ			
フロリダ	11年 トリ	Tori	45
まいはま	11年 サラ	Sarah	45
スイス	11年 アンチャル	Anchal	46
お花見で一句	12年 あな	Anna	47
	12年 木子	Muzi	47
	12年 海利	Harry	47
	12年 レシマ	Reshma	47
	11年 ミカ	Mika	47
	11年 瑞永	Seoyoung	47
	11年 ケイティ	Katherine	47
	11年 アリス	Ye Weon	47
	11年 ジョイス	Joyce	47
17歳の私(太宰治「走れメロス」の学習より)	11年 和月	Kazuki	48
わたしの「小景異情」 (室生犀星「小景異情」を随筆に書きかえてみる)	11年 百恵	Momoe	50
	11年 南帆	Naho	50
	11年 りさ	Risa	51

<b>第2部</b>	<b>修学旅行</b>				
	一番楽しかったしゅう学旅行	5年	彩雅	Ayaka	54
	フジヤマ	6年	かれん	Karen	54
	修学旅行の思い出	7年	直美	Naomi	55
	乗鞍の美しい自然	8年	鳳乃香	Honoka	56
	私の輝いている気持ち（旅行中に「輝き」をテーマに写真を撮り、それについて説明する）	9年	恵菜	Ena	58
	迷路（旅行中に「挑戦」をテーマに写真を撮り、それについて説明する）	10年	花	Hana	59
	これが日本！（旅行中に「これが日本！」をテーマに写真を撮り、それについて説明する）	11年	ダーリア	Darya	60
	広島の訴え（旅行中に「平和」をテーマに写真を撮り、それについて説明する）	12年	詩瑛奈	Shayna	61
<b>第3部</b>	<b>スピーチ</b>				
	必死になること	11年	文子	Ayako	63
	ペットブームの裏側	11年	安樹	Anju	65
	自分を愛する	12年	京	Miya	68
	本当の強さを知ったとき	12年	倫子	Rinko	71
	数学と私	12年	莉奈	Rina	73
<b>第4部</b>	<b>さくらメダル感想文</b>				
	『しんかんせんでビューン』をよんで	2年	友紀	Youki	76
	『りきしのほし』をよんで	3年	華実	Hanami	76
		3年	ソフィ	Sophie	77
		3年	恵麻	Emma	77
		3年	春花	Haruka	78
	『さくらいろのりゅう』をよんで	4年	陽美	Harumi	79
		4年	美穂	Miho	80
	『明日の子供たち』をよんで	6年	里紗	Risa	81
	『先生、しゅくだいわすれました』をよんで	6年	ころこ	Cocoro	82
	ケイタのおもいでのおに祭り	6年	貴蘭	Kiara	84

くじらぐもへのてがみ  
教科書の「くじらぐも」から



くじらぐもへ

2年 まや  
Maya

くじらぐもができてすごいな。くじらぐもをみたいな。そのあとどうなっているかな。いっしょにそらをとぼう。

2年 あびげいる  
Abigail

いっしょにどこかいかない？わたし、くものくじらにあいたい。くものくじら、どこにすんでる？そして、なにがしたい？わたしも、くものくじらみたいになりたいな。

2年 ゆうき  
Yuki

今どこにいるんですか。わたしもくじらぐもさんにのりたいです。くじらぐもさんにはほかのくじらぐものお友だちがいますか。もしほかのくじらぐもがいたら教えてください。

2年 衣織  
Iori

いま、ひこうきにのる人が多いですね。でも、くもにのる人はあんまりいません。くじらのくもさんがやってきたら、すごくうれしくなります。ほんとうにあいたいです。でも、くじらのくもさんにはのりたくありません。おしりがぬれてしまいます。手紙をまっています。

2年 波美  
Nami

わたしは、いつかあなたにあって、いっしょにあそびたいです。あなたは、およぐのがとくいですか？わたしはとくいですよ。あなたは空の上において、どんなきもちですか？わたしもいつかあなたのせなかにのって、空の上に行きたいです。

2年 凜奈  
Linna

わたしは、くじらぐもの本をよみました。ほんとうに子どもたちは、くじらぐもの上にのったの？ほんとうにくじらぐものはしゃべれるの？わたしは、くじらぐもの上にのりたいです。

2年 星托雅  
Xingtuoya

今どこで何をしていますか。空はたのしいですか。ここの学校に来てください。わたしはくじら雲に乗りたいです。わたしたちが空に行けば、さんそがいます。くじら雲に乗る気分はさいこうにいいでしょう。

2年 友紀  
Youki

わたしはいろんなくもを見たことがありますが、くじらぐもほどかわっているくもを見たことはありません。本の子どもみたいに、あたなにとびのりたいです。

2年 ひかる  
Hikaru

わたしは、くじらぐもさんのせなかにのりたいです。くじらぐもさんはどこにすんでいるの。くじらぐもさんは子どもなの、おとななの。とうきょうにきてね。

2年 ありん  
Arin

なんでくじらぐもさんって、すいぞくかんにいないの。くじらぐもさんってどこにいるの。どうやって子どもたちと先生をもちあげたの。おしえてください。

2年 さくらこ  
Sakurako

わたしも、くじらぐもさんにのってみたい。くじらぐもさん、いまどこにいるんですか？わたしはいまがっこうにいます。そらはどんなかんじかおしえてください。

2年 蛍  
Hotaru

わたしはくじらぐもさんの本をよみ、いろいろしりたいことがあります。くじらさんはどうしてみんなと、おともだちになろうとおもいましたか？くじらさんにおねがいがあります。わたしたちをみんなくじらぐもさんにのせてくれませんか。

2年 じゅん  
June

わたしもくじらぐものせなかのうえに、のりたいです。いつかわたしのがっこうにきてください。せんせいもくじらぐもをみたら、きっとよろこびますよ。

2年 咲弥  
Saya

わたしは、あなたのせなかの上ののって、たびにでたいです。あなたは、今どこにいますか？こんどわたしの家に来てください。まっています。わたしのおたん生日は3月5日です。あなたのおたん生日は、いつですか。わたしは三人家ぞくです。あなたは何人家ぞくですか。

2年 めい  
Sierra May

なんでくじらぐもとぶの？なんでとりじゃあないの？くじらだったらとべないよ。くじらぐもととびたいな。

2年 カヨウ  
Karen

この本のくじらぐもさんは、かっこいいです。くじらぐもさんは、もういっかい学校にいきますか。男の子も女の子も、くじらぐもさんが好きですか。先生も、くじらぐもさんにあえて、よろこんでいましたか。わたしとくじらぐもさんは、ともだちかな。

2年 まりな  
Marina

わたし、くじらぐもといっしょにとびたい。わたし、くもたべたいなあ。ねえ、くじらさん、くものアイスクリームってある？



にはongo JF1 クラスより



## ゆめを かなえる まほうの どうぐ

教科書「あったらいいな こんなもの」より

3年 華実

Hanami



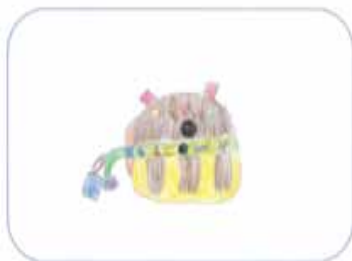
わたしは、こういうものがあっていいなと思います。それは、「よじげんポシエット」です。たて 13 センチメートル、横 21 センチメートルくらいの、むらさきのポシエットです。ぶら下げる部分は、パールでできています。

これは 999 おく円もします。このどう具は、すきな時にみらいのどう具が出せます。ねがいごとによって、おすボタンがちがいます。使い方は、自分のパスワードを言って、みらいのどう具をポシエットからとりだすだけです。パスワードがちがったら、ポシエットがかってにけいさつをよんでしまいます。ポシエットについている、だいたい色のボタンをおすと、ロボットしつじを出してくれます。もも色のボタンをおすと、だれとでも友だちになれます。緑色のボタンをおすと、ほしいものがとりだせます。赤いボタンをおすと、お金を出してくれます。それぞれおして、たのしめます。

あなたは、どんなどう具がほしいですか。考えてみてください。

3年 あんり

Anri



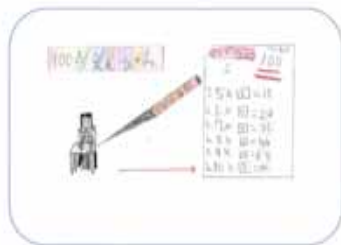
わたしのゆめをかなえるまほうのどうぐは、「スマートけずり」です。かたちは、ふつうのえんぴつけずりとおなじです。よこが 7 センチ、たてが 5 センチです。色はちゃいろで、下はきいろとちゃいろです。ボタンのあるところはみどりです。

これがかんがえたりゆうは、これがあればお母さんにおこられないとおもったからです。つかいかたは、まずえんぴつを入れます。それから、2B、3B、2H、HBなどのボタンをお

します。とまってほしいときは、赤いボタンをおします。みどりのボタンをおすと、ふつうのえんぴつけずりとおなじはたらきをします。きいろいボタンをおして、えんぴつをけずり、そのえんぴつでえをかいたりべんきょうしたりすると、いいことばかりおきます。けずりおわったら、けずりかすがちがうえんぴつになります。わたしのどうぐは、いつでもつかえます。

あなたのまほうのどうぐはなんですか？

3年 ソフィ ゆら  
Sophie



わたしのゆめをかなえるまほうのどうぐは、「100点えんぴつ」です。

えんぴつのながさは、5センチで、えんぴつの先は、6センチです。100点のマークが5こあります。

「100点えんぴつ」でできることは、テストで100点をとることです。このえんぴつを思いついたりゆうは、テストでまちがえないようになったらいいな、と思ったからです。つかいかたはかんたんで、じどうてきにうごきます。

わたしのゆめのどうぐを、あなたもつかってみませんか？とてもいいですよ。

3年 汐羅  
Sera



わたしのゆめをかなえるまほうのどうぐは、「たべものリュック」です。

このどうぐの形は四角で、大きさはふつうのリュックの大きさです。色は、茶色、赤、緑、水色、むらさき、くろ、そしてオレンジです。このどうぐは、自分が食べたいものを出せるリュックです。

わたしがこのどうぐをほしいと思ったりゆうは、自分のすきなものをいつでも食べられるからです。「たべものリュック」はいつでもつかえます。

あなたは、どんなどうぐがほしいですか。「たべものリュック」はべんりだとおもいます。

3年 恵麻  
Emma



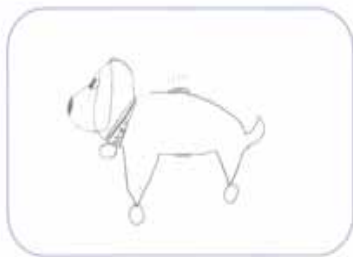
私のゆめをかなえるまほうのどうぐは、「色かわりボタンネックレス」です。ネックレスの長さは11センチで、パールの色は白で、ダイヤモンドの色はレインボーです。

このどうぐは、丸いボタンをおすと、ネックレスの色が変わります。「何色にしますか」とどうぐが聞くので、好きな色をいいます。そうすると、その

色になります。

このどうぐを考えた理由は、他の色のネックレスをつけたいときに、家にかえるのがめんどうだからです。お母さんが使うのに一番いいとおもうので、ぜひ使ってください。

3年 和花  
Amelia Waka



わたしのゆめをかなえるまほうのどうぐは、「うれたん」という犬のロボットです。「うれたん」は、犬の形をしています。大きさは手にのるくらいで、色は茶色です。このロボットは、かなしいときにうれしい気持ちにしてくれます。

この犬のロボットをかんがえたりゆうは、だれもあそんでくれなかったり、ころんだりしておちこんでいる時に、犬が元気にしてくれるといいなと思ったからです。

つかいかたは、まず、犬のおなかのところにあるボタンをおします。そうすると、ロボットの目があいて、かなしい気ぶんの人のほうに犬のロボットがあるいていきます。そのあと、犬が楽しい歌をながしてくれます。

わたしは、この犬のロボットをみんなにつかってもらって、みんなに楽しい気分になってほしいです。

3年 春花  
Haruka



わたしのゆめをかなえるまほうのどうぐは、「トーマーブレスレット」です。ながさは13センチメートルで、いろはどうめいなので見えません。

このどうぐでできることは二つあります。一つめは、赤ちゃんのときのじぶんをみることができます。ほしかったりゆうは、じぶんの子に、じぶんがどういう子だったかをおしえてあげられるからです。二つめにできることは、これからおこる、みらいのこをみることです。ほしかったりゆうは、テストなどで百点をとることができるからです。

このどうぐのつかいかたは、ことばが書いてあるところをおすだけです。

## わたしについて

4年 はな  
Hana

わたしの名まえは、マルケジニスはなです。わたしは9さいです。わたしのいえは、三田にあります。わたしは、ギリシャ人と日本人です。わたしにはおとうとがひとりいます。クリスという名前です。

わたしのすきなものは、かぞくとともだちと、ごうかなたべものです。わたしのすきなじゅぎょうは、たいいくとアートのクラスです。

しょうらいは、コックさんになりたいです。なぜなら、たべものがだいすきだからです。でもおこのみやきはあまりすきではありません。

わたしが一番すきなばしょは、おじいさんのべっそうです。そのりゆうは、くうきがとてもきれいなのと、なつには川がとてもうつくしいからです。またふゆになるとゆきがたくさんつものも、すきなりゆうです。

これがわたしのしょうかいです。

4年 陽美  
Harumi

わたしの名前は陽美です。日本で生まれました。わたしは日本人でもあり、アメリカ人でもあります。それは、わたしのお父さんのお母さん、つまりおばあさんがアメリカ人だからです。

陽美という名前は、わたしのお母さんとお父さんの名前のさいしよのかん字からとったものです。陽美は美しい太陽といういみです。りよう親からもらった名前は、とても良い名前だと気に入っていて大すきなので、大切にしていきたいと思っています。

わたしには、2才の妹が一人います。陽菜<sup>ひな</sup>という名前です。7才年下のかわいくて元気な女の子です。いつもすぐにものをかくしてしまうので、さがすのがとてもたいへんです。少し前には、目ぐすりのケースをかくしてしまって、リビングルームをさがしたけれど見つからず、わたしのへやでやっと見つかった時には、すごくおどろきました。

わたしのすきなものは、お母さんからもらったかぎのネックレスです。ミッキーマウスのかたちをしていて、ぎん色に光っています。ディズニーランドにあそびに行った時に見つけて買ってもらった大切なものです。

わたしのすきなじゅぎょうは、音楽です。そのりゆうは、歌を歌うことが大すきで、ピアノも4才からレッスンをうけているからです。ピアノのれんしゅうはいつもたいへんだけれど、じょうずになりたいので、これからもがんばろうと思っています。

しょうらいになりたいものはたくさんあります。はいしゃさん、マジシャン、さっか、それからできればおいしゃさんにもなりたいなど思います。人をたすけたり、たのしませるしごとができたらよいなど思います。

## わたしと日本語

4年 里渚  
Rina

わたしは日本語をいつも家で使っています。家でテレビをみるときは、かならず日本語でみています。

日本語でとくいではないことは、早口ことばです。けれども、れんしゅうしてとくいになった早口ことばもあります。たとえば、「なま麦なま米なま玉子」です。

日本語のべんきょうでがんばりたいことは、1月から始まる漢字テストです。百問テストにも合かくして、つぎのステップにすすみたいです。

これからも日本語のべんきょうをいっしょうけんめいがんばって、もっとたくさん、ただし日本語がつかえるようになりたいです。

## わたしのすきなかもく

4年 えみり  
Emily

わたしがすきなかもくは、アートです。なぜならば、とくにルールがないので、自分のかんがえでなんでも作ったりかいたりできるからです。

4年生になったので、自分のスケッチブックをつくって、もっとむずかしいさくひんにもちょうせんします。

そして、大きくなったらアートについてべんきょうしたいです。とくにとうげいをやりたいです。とうげいで、お母さんにマグカップを、お父さんには小さいおさけのカップを、おねえさんには小さいおさらをつくってあげたいです。

おとなになって、わたしに子どもができたなら、大すきなアートをおしえてあげたいとおもっています。

## 私の好きな科目

4年 美穂  
Miho

私の好きな科目はたくさんあります。でも、特に好きなのは、日本語と算数です。どちらの科目も同じくらい好きです。

算数はとてもむずかしいと思います。今までは私にとって苦手な教科でした。でも4年生になって、むずかしい算数の問題がとけた時、とてもうれしかったです。算数は答えがわかるととても良い気持ちになるので、好きになりました。今は大きな数について習っています。

日本語もとてもみりよくな科目だと思います。金子みすゞの詩や、日本のはいくや百人一首にはいろいろな美しい日本語が入っています。私はそのようなきれいな日本語が大好きなので、日本語を習うことが出来てとてもうれしいです。4年生では、「えりすぐり」などのむずかしい言葉を学びました。

高校生になったら、もっとむずかしい日本語を一生けんめいたくさん学び、もっとむずかしい算数の問題をときたいです。

## 一番好きなきせつ

4年 あかね  
Akane

わたしは秋が好きです。

秋にはりんごをたべて、きれいなおちばを見ることが好きです。そしておちばをたくさんあつめて、なげたりしてあそぶことが好きです。

秋がすきなりゆうは、気こうがよくて、木のはっぱの色がとてもきれいだからです。そして、ハロウィーンもありますし、わたしのおたんじょう日の10月3日も秋なので、大すきなりゆうです。

わたしはシンガポールに2年間すんでいたことがあります。シンガポールは四きがなく、一年中夏でした。四きがある日本には、秋があつてうれしいです。

4年 かれん  
Karen

わたしのすきなきせつは、なつと冬です。

冬に、雪山についてどうぶつの足あとをみるのが好きです。なつには海であそぶのが好きです。冬にはみかんを食べるのが好きです。なつには、アイスクャンディーを食べるのが好きです。冬はスキーができます。なつはプールでおよげます。冬は雪がふるから好きですが、なつはおもいコートをきなくていいから好きです。

アメリカのコロラドしゅうでは、なつがみじかくて冬がながいです。日本のなつはむしあつくて、冬はものすごくつめたい風がふきます。

なつと冬は、はんたいのきせつだけれど、わたしはそのりょうほうが大好きです。

4年 エレノア  
Eleanor

わたしが一番好きなきせつはなつです。

なつにはおまつりに行って、チョコバナナを食べながら、ぼんおどりをおどっている人を見ることが好きです。

また、なつにはこうえんに行って、バドミントンをしてあそぶことも好きです。

ほかになつがすきなりゆうは、海に行くことができるからです。

日本が冬のときにニュージーランドに行くと、ニュージーランドはきせつがはんたいなので、なつです。日本の冬にニュージーランドに行くと、なつを一年に二回たのしめるのでうれしいです。



## じこしょうかいとわたしのしょうらい

5年 アンナ  
Anna

わたしのなまえはアンナです。10さいです。せいしんインターナショナルスクールの5ねんせいです。わたしのかぞくは、おとうさん、おかあさん、わたし、いもうとです。わたしはにほんがだいすきです。にほんはあんぜんです。わたしはにほんじんのともだちがいます。

わたしはしょうらいKポップスターになります。わたしはEXOがすきです。

6年 マヤ  
Mya

わたしはマヤです。せいしんインターナショナルスクールの6年生です。いま、にほんにすんでいます。わたしのかぞくは、おかあさん、おとうさん、おねえさん、おとうととねこです。

しょうらい、わたしはアクターです。わたしはえいがにでます。わたしは6じにおきます。あさごはんはくだものをたべます。コーヒーをのみます。わたしはくるまでしごとにいきます。わたしはえんぎを3じかんします。わたしはひるごはんをたべます。サラダとピザをたべます。こうちゃをのみます。そのあと、わたしはえんぎを2じかんします。わたしはくるまでいえにかえります。ばんごはんをたべます。わたしは10じはんにねます。

はいく



5年 ジョージア  
Georgia

はらはらと  
ようせいおどる  
つきあかり

5年 ロゼール  
Roselle

ももいろの  
あしもとピンク  
ゆきつもる

5年 ビビエン  
Vivien

ももいろの  
ちりゆくいのち  
はかなげに

5年 イリーナ  
Irina

ゆきのよう  
ちりゆくさくら  
やすらかに

5年 イシータ  
Ishita

うつくしい  
ピンクのはなびら  
きらきらと

6年 ジャナ  
Jana

ももいろの  
じゅうたんひろがる  
さくらあめ

## おはなしをつくる

6年 スヒョン

Su Hyeon



この学校の学生は青いせいふくをきています。ブラウスは白い色をきてもいいです。毎日、青いネクタイをしています。くつは黒と白い色をはきます。なつは、白いソックスを、冬は、くろいストッキングをはいてもいいです。さむい日は、コートをきてもいいです。でも、あかるい色のコートをきてはいけません。かばんの色は何の色でもいいです。イヤリングをしてもいいですが、ネックレスをきてはいけません。かみのけをそめてもいいですが、あかるい色にしてはいけません。マニキュアをしてもいいです。

6年 リトゥ

Rithu



このおんなのこは T シャツをきてジーンズをはいています。そしてくつをはいています。そして、たっています。このおんなのこはぼうしをかぶっています。それからかさをもっています。雨がふっていました。それから天気が晴れました。このおんなのこはにじをみて、たのしんでいます。それから、このおんなのこはあそびがだいすきです。そのあとでともだちをまっています。

6年 レビカ

Revika



このおとこの人のなまえはトロールです。かれのすきないろはみどりです。トロールはたべもがだいすきです。かれはちいさいもうとがいます。かれは青いシャツをきています。かれはピンクのパンツもはいています。トロールはかみがすくないです。ちいさいころからかみがあまりありませんでした。くちひげがあります。トロールはぼうしをかぶっています。

## 豆太へのてがみ

—教科書「モチモチの木」より—

6年 ジュウン

June

こんにちは。わたしは6年生のユン・ジュウンです。わたしは豆太さんのお話を読んで、わたしにも豆太さんと同じゆう気があったらいいなと思いました。わたしが考える豆太さんのゆう気はやさしいゆう気だと思います。さい後にも、じさまといっしょにせっちんにいくのを見て、わたしは、豆太さんはまだせっちんに一人でいくゆう気はないね、と思いました。けれども、じさまをこわい夜中にたすけたのは、豆太さんのあいのパワーだと考えています。豆太さんがじさまをだいじな人だと思っていることもすばらしいです。豆太さんは小さい子どもだけれど、心はおとなよりもっとふかいあいがあります。

豆太さんがモチモチの木をこわいと思ってもらいたいと思います。わたしもモチモチの木を見たら、おくびょうになると思うからです。さいごのだんらくの「弱虫でもやさしけりゃ」を読んでわたしは、おくびょうでもやさしいことはいいと思いました。

## 日記より

—ふるさと—

5年 真央

Mao

わたしはアメリカで生まれ育ちました。わたしは10年間ずっとグリニッチカントリーデイスクールという学校に通っていました。わたしの友だちたちはエリーグレースとマーサとテサです。みんなとてもいい友だちです。いつもいっしょにプールへ行ったり、アイスクリームを買ったり、おとまり会をしたりしていました。だから日本に来た後はちょっとさびしくなっていました。でも、日本にもとてもなれてきました。夏休みにはアメリカへ行くのでとても楽しみです。わたしは日本人ですが、生まれ育ったアメリカはわたしのふるさとはです。

—悲しかったこと—

5年 彩雅

Ayaka

私が人生で一番悲しかったことは、私の一番仲が良い友達がかん国へ帰ってしまったことです。

私の仲が良い友達のあだ名はジェニーです。本名はユンソです。ジェニーはとてもやさしくて何があっても助けてくれるとてもいい友達です。ある日、ジェニーが私に「かん国へ帰らなきゃだめなの。」と言いました。それをみんなに言ったら泣き出してしまいました。でも、私は泣きませんでした。なぜなら、ジェニーを心配させたくなかったからです。

ジェニーの日本で最後の日がやって来ました。私は泣きました。けどおそろいのブレスレットを私が買ってわたしたのでいつもいっしょです。

いつか、またジェニーといっしょに遊びたいです。

—大切なもの—

5年 千瑛

Chie

みんな大切なものを持っています。私には大切なものが三つあります。

一つ目のものは、スマートフォンです。なぜかというと生活に役立つし、探しごとをかんとんにしてくれるからです。たとえば、たん語が分からない時、私たちを助けてくれます。

二つ目の大切なものは、文房具です。これらがなかったら今書いている日記やメモなどができません。まちがえて書いたところも直せます。

最後に、三つ目のものは、お金です。お金でものが買えるからです。お金がなかったら今生活が苦しいと思います。だからお金を大切に使いたいです。

これらがわたしの大切なものです。スマートフォン、文房具とお金です。わたしは、今までしてきたように、これらをこれからも大切にみつかりたいと思います。

5年 ジョニ  
Jonie

私にとって大切なものは、家族です。なぜなら、私が悲しかったら、はげましてくれるからです。お父さんは毎日、会社に行っています。会社では、いつもがんばっています。お母さんは、私のお世話をしていて、家をきれいにしたり、おべんとうを作ってくれたりしています。お母さんも、とてもがんばって、はたらいています。二人とも、やさしくて、いつも助けてくれます。ほかに、もっとたくさん理由はありますが、これが一番大切だと思っています。家族に感しゃしています。私も大人になったら、お父さんとお母さんみたいになりたいです。

### 私たちの日本語

教科書「天気を予想する」の構成をまねて

6年 真央  
Mao

6年 美波  
Lei

6年 光紀  
Mitsuki

6年 ころこ  
Cocoro

6年 里紗  
Risa

私たちの学校はインターナショナルスクールです。学校の共通語は英語で、授業で使う言葉も英語、休み時間に友だちとおしゃべりするのに使うのも英語です。しかし、日本語も話すことができます。なぜ、インターナショナルスクールに通っているのに、日本語も話すことができるのでしょうか。

それは、主に二つの理由があります。一つは、私たちにとって日本語は母語だからです。家で家族と日本語で話します。もう一つの理由は、学校で日本語

の授業をとっているからです。海外にいたときにも、週末に補習校で日本語を勉強していました。

では、家で家族と日本語で話し、学校で週 4 時間日本語の授業を受けていれば、日本の学校で勉強してきた人たちと同じように日本語ができるようになるのでしょうか。それは、かなり難しいというのが、現在の私たちの考えです。

家族と日本語で話しているだけでは、簡単な言葉しか使うことができません。社会で起きていることについて話すような言葉は、家族との普段の会話ではなかなか使えません。私たちは理科も社会も英語で勉強しています。そこで学ぶ言葉は、学校の日本語の授業だけでは全部勉強することができません。それに、私たちは英語のほうが強くなる傾向があるので、家族と日本語を話していてもわからない言葉があるについ英語が出てきてしまいます。ですから、このままでは日本語が上達しません。

また、「日本語を使う」というのは、言葉の問題だけではなく、文化や習慣も理解していなければなりません。補習校や学校の日本語の授業だけでは、日本の文化や習慣をしっかりと学ぶことができません。日本語が話せても、日本の習慣やマナーを理解していなければ、日本の社会でうまくコミュニケーションをとることができません。

では、私たちは将来、日本の社会で使うような日本語を身につけることができのでしょうか。それには、いくつかの手立てがあると思います。

まず一つは、新聞を読んだりニュースを見たりするのを習慣にすることです。これによって、社会で起こっているさまざまな問題について話すための言葉や表現を学ぶことができます。また、さらに新聞などで話題になっていることについて他の人と議論することによってその問題に関連する言葉や表現を実際に使うことができます。このように努力すれば、自分が話せる話題も多くなり、日本語でいろいろな話ができるようになります。

もう一つは、本を読んだり作文を書いたりすることを日常的に行っていくことです。本を読むと、楽しみながらたくさん言葉や表現を学ぶことができます。また、知らなかった言葉をメモするようにすれば、自分の言葉を増やすことができます。それに、本を読むことによって、日本人の考え方や、文化や習慣も学ぶことができます。

私たちは、これまでも日本語をこつこつと勉強してきました。国語の教科書も読むことができます。でも、将来のために、もっと工夫して努力していけば日本語は上達していき、将来社会で使える言葉を自分のものにすることができます。大切なのは、自分のやる気です。日本語をがんばって勉強していくという気持ちが大切なのです。これからも、どんどん日本語を勉強して、日本語も英語と同じように話したり書いたりできるようになりたいと思います。

## につき

8年 ナタリー  
Nathalie

わたしはきのうバスでがっこうにきました。わたしはえをかきました。わたしはべんきょうしませんでした。わたしのうさぎはびょうきですから、くすりをのみました。わたしはコーヒーをのみました。シャワーのあと、ばんごはんをたべました。わたしはやさいをたべました。それからわたしはこうえんにいきました。いぬがいました。いぬはかわいいです。

7年 モエラ  
Moera

きのう、コーラルフェスティバルにいきました。そしてテレビをみました。たのしいです。ともだちとひるごはんをたべました。おいしいです。あまいシュークリームをデザートにたべました。

きょうは金よう日です。きょうはちきゅうのたんじょうびですから7ねんせいはきいろのふくをきました。わたしはかいものをしました。わたしはともだちとこうえんにいきました。こうえんでおかしをたべました。

あしたのごご、わたしはともだちとペットショップにいけます。いぬとねこはかわいいです。ペットショップのあと、コーヒーショップにいけます。チョコレートのみます。

8年 ケイティ  
Katie

きょうは水よう日です。わたしはあさごはんをたべました。わたしはあるいてがっこうにきました。あしたもわたしはがっこうにきます。きょう、わたしはしゅくだいをしました。ばんごはんのあとしゅくだいをしました。わたしはばんごはんをたべました。わたしのおかあさんがばんごはんをつくりました。わたしはおかしをたべませんでした。わたしのおとうさんはばんごはんをつくりませんでした。



## お話を作る

8年 ジャシント  
Jacinta



このえは文子で、13 さいです。青いセーターをきて、青いパンツをはいて、リボンをつけています。文子のかみのけと目はちいろです。文子のかぞくはおかあさんとおとうさんといもうとです。いもうとのなまえは花で、10 さいです。文子は日本人とアメリカ人のハーフです。文子のおとうさんはアメリカ人で、おかあさんは日本人です。文子のおとうさんはぎんこうではたらいしています。文子はおとうさんのしごとをしたいです。だから、文子はよくべんきょうしています。文子の学校はせいしんで、8年生です。まいにち、あるいて学校にいきます。学校で、ネックレスとブレスレットをしてはいけません。イヤリングはしてもいいです。文子は学校とかぞくがだいすきです。

7年 ギャビー  
Gabrielle



この人のなまえはオバマです。オバマさんはアフリカにいきたいです。でもお金がありません。オバマさんはホームレスです。きのうオバマさんのいぬがしにました。だからオバマさんはさびしいです。オバマさんはすこしげんきがありません。

オバマさんはシャツをきて、ネクタイをしています。オバマさんはくつとズボンもはいています。そしてオバマさんはいきをしています。オバマさんはヤギがすきですから、ヤギをあたまにかぶっています。オバマさんはねこをもっています。このねこはオバマさんのうちに4年すんでいます。このねこはオバマさんがだいすきですから、いつもいっしょにいます。

きょうオバマさんはいぬカフェにいきます。オバマさんはそこでねこのともだちをつくりたいです。

## おはなし

8年 ジャニス

Jae Eun

7年 タニヤ

Tanya

7年 アリーシャ

Misaki Allysha

ミカは14歳です。ミカは日本の学校に行っています。ミカは学校のバスケットボールチームに入っています。バスケットボールは9年間したからすごくじょうずです。火曜日はバスケットボールのファイナルでした。とてもどきどきしたけど、がんばりました。しあいはアメリカでしました。ミカはアメリカに行ったことがありませんでした。だからうれしかったです。でも、しあいの日にかぜをひきました。そして、アメリカにいるから病院に行くことができませんでした。でも、しあいを休みたくなかったから先生からくすりをもらいました。先生が「休んでください。」と言いましたから3時間休んでねました。

ミカはくすりをのんでげん気になりました。だからしあいでがんばりました。しあいのけっかは59たい17でした。しあいにかちましたから、それからせん手といっしょにパーティーをしました。パーティーでおいしいたべものをたべながらダンスをしました。そのあとでせん手といろいろなゲームをしたときアイスクリームをたべました。とてもたのしかったです。

そして、日本にかえりました。おかあさんとおとうさんがむかえにきました。いっしょにパーティーをしました。ミカのともだちとバスケットのチームのせん手がいました。しょくじをして、アイスクリームをたべました。そのあとで、バスケットをしました。ミカはつかれてねたかったです。でも、とてもうれしかったです。

## 5年前の3月11日

8年 ハルシタ  
Harshita

5年前、3月11日に日本で大きいじしんがありました。2時46分にありました。じしんの日に私は学校にいました。ともだちとあそんだりして2時半にクラスにかえりました。えいごのじゅぎょうがありました。先生は私のホームルームの先生でした。その日はテストがありました。テストをしていたとき、じしんがはじまりました。私のともだちが「じしんだ！」といいました。みんなはつくえのしたに入りました。とてもこわかったです。2分後に先生がみんなに「そとにいきましょう！」といいました。下にいくとき私はなきました。クラスメイトの中でいちばんなきました。とてもこわかったです。先生は私に「だいじょうぶだよ！」とってだきしめてくれました。私のなかよしは私を見て、なきました。今思い出すと、どうしてかわかりません。2時間後に、私の母とおとうとが学校にきました。それから、うちにかえってたべものをたべました。テレビを見てねました。

くまもとでも大きいじしんがありました。わたしは、くまもとのみなさまのためにおいのりしています。

8年 エミリー  
Emily

2011年のじしんのとき、とてもこわかったです。じしんのあいだ、つくえのしたにはいりました。じしんの日はビンゴのイベントの日でした。けれど、じしんがあったから、ビンゴをしませんでした。じしんのとき、私は9さいでした。大きいじしんでした。だから、みんなは、ひなんしました。じしんのあとで、つなみがありました。つなみがあったから、東北にすんでいるひとはたくさんなくなりました。とてもとてもかなしかったです。私はたくさんなきました。もし、じしんがなかったら、人はしにませんでした。とてもかなしかったです。じしんのあと2しゅうかんやすみでした。だから、1しゅうかんぐらいオーストラリアにいきました。でも、日本にかえりたかったです。1しゅうかんごとに日本にかえりました。日本にかえってきて、私はうれしかったです。私は、

東北の人たちのために何かしたいとおもいました。だから、ブレスレットをつくって、うりました。4500円もらいました。だから、私は東北にお金をおくりました。わたしは、すこしうれしかったです。東北にすんでいる人はとてもがんばっています。私もがんばります。

8年 ヴィッキー  
Victoria

3月11日はビンゴの日でした。私は学校にいました。2時45分に地震がきました。その時間に私のクラスにはミステリーリーダーがきていました。サリナのお母さんでした。地震はさいしょにゆれが小さかったからだれもつくえの下へ行きませんでした。20秒あとで地震のゆれがつよくなりました。つよすぎてつくえの下へいけなくなりました。みんなは犬ごえでなきはじめました。私はとてもこわかったです。地震のあと学校からひなんをしました。地震がおわってもよしんがいっぱいあったので学校の中へ入ってかばんをとりにいくことができませんでした。すぐ父がきました。でも、うちのマンションにかえったらエレベーターがつかえませんでした。だから、うちに入ることができませんでした。ホテルにいてもへやがありませんでしたから、マンションのかいだんでねむりました。とてもたいへんでした。

東北やくまもどの人たちはもっとたいへんだと思います。みなさんに元気になってほしいです。

8年 ナオミ  
Naomi

3月11日はかなしい一日でした。私のかぞくがみんなぶじだったことにかんしゃしています。その時、私は日本語のクラスにいました。せいしんにはまだかよっていませんでした。西町にいました。3年生でした。子どもはいつもはなしたり、おどったりして、うごきます。私たちの日本語のクラスはまだはじまっていませんでした。でも、私たちは日本語の教室にいました。私は元気だったから、くるくるうごいていました。私がかくるくるまわっている時に、じしんがはじまりました。「ナオミ、ゆれるからやめて。」と友だちが言いました。私

は「それは私じゃないよ。私はおもくないから。」と言いました。私は正しかったのです。きょうしつがゆれていたのは、私がうごいていたからではありませんでした。じしんだったのです。先生が「みなさん。おちついて、つくえの下に入ってください。」と言って、みんなはつくえの下に入って、あたまをまもりました。大きいじしんのあとで、学校の人はずんいん外へ行きました。私は母に電話をかけました。でも、電話はつながりませんでした。お母さんがこなかった子どもはたいいくかんに行きました。私もたいいくかんへ行きました。1時かんのあとで、私は母に何かあったのではないかと思いました。みんなのお母さんとお父さんはもうきていました。でも、私の母はまだこなかったのです。(父はしごとでアメリカに行っていました。)でも、そのすぐそのあとに、母はきました！私の姉はびょうきで学校をやすんでいたのも、母とききました。弟はちいさかった(3さいだった)ので、もう学校がおわって母といました。だから、母と姉と弟はいっしょに私をむかえにきました。家にぶじにかえりました。

5年前の3月11日に東北ではたくさんの方がなくなりました。かなしい一日でした。

## 「やまなし」「イーハトーブの夢」から学んだこと

7年 真矢  
Maya

「やまなし」を書いた作家、宮沢賢治が理想としたものは何だったのか。それは、すべての人間が人間らしい生き方ができる社会と、人間も動物も植物も互いに心が通い合うような世界を築くという理想だ。

この理想や考え方は、今の現代に生きる私たちが抱える様々な社会問題の改善や解決に役立つのではないだろうか。例えば、世界的に問題になっている貧困問題は、自分だけが良ければいいというひとりよがりな考え方を捨てて、賢治のように優しい気持ちで困っている人に手を差し伸べるのが改善の第一歩となると思うからだ。またペットなどの動物が捨てられたり、意味もなく殺されていることなどの問題も、人間も動物も植物も皆同じように尊い命を持っていると考えて、動物や植物たちの立場を見つめ直し、それらになるべく悪いことをしないようにするということが解決の糸口になると思うからだ。

このような理想を築くために私たちが今出来ることは、募金して困っている人を助けたり、ボランティアをして他の人の力になったり、宮沢賢治のように自分の興味があることを勉強して、その勉強を社会のために役立てるようにして生きていくことだと思う。そんな一人ひとりの小さな心がけが、社会や世界を生き物すべてが生きやすい場所へと変えていけるのではないだろうか。

## 仕事の見方を変えてみる

教科書「ちょっと立ち止まって」より

8年 花

Hana

世の中には色々な仕事がある。その中には尊けいされるような印象がある仕事とそうでないものがある。しかし、仕事によって人を判断することはまちがっているのではないかと最近思うようになった。

コンビニエンスストアでのアルバイトは、あまり重要だと思われるような仕事ではないため、そこで働いている人も同じイメージをもたれてしまう。数ヶ月前から、学校の前のコンビニエンスストアで新しい店員さんが働き始めた。その人はほかの店員さんと少しちがって、お客さんの一人ひとりに元気よくあいさつし、ていねいにおじぎをして、いつも全力で働いている。最初はちょっと変わった人だなと思っただけだった。しかし、店によるたびに、その人のおかげで周りの店員さんやお客さんも明るく元気になっているのを感じ、印象が変わった。特別な仕事をしているわけでもないのに、一生けんめい真剣に働いているのを見て尊けいする気持ちがわいてきた。

この経験は、私の仕事に対する見方や考え方を大きく変えた。その人が尊けいできるかどうかは、その人がついている仕事には関係なく、どれだけ一生けんめいにほこりをもって働いているかで決まるということに気がついた。そして今では、毎朝笑顔であいさつしてくれる学校の警備員さん、駅のホームのすみずみまでそうじしてくれる清そう員さんたち、そして真夏のむし暑い日も

冬の寒い日もがんばっている工事現場の人たちを見るとありがたく思う。あのコンビニエンスストアの店員さんのおかげで、私たちの周りで様々な仕事をしてがんばってくれているたくさんの人に感謝する気持ちを持つようになった。

## 往復書簡

「坊ちゃん」の学習より

東京の清の元を離れた坊ちゃんが、新しい赴任先である四国から清宛ての手紙を出し、清も坊ちゃんに返信をしたとします。二人はどんな思いを手紙にしたためたのでしょうか。それぞれの思いを想像して書きました。

8年 エルノ  
Elno

清へ

お元気ですか。四国の学校に赴任してから、もう半年ですね。こちらは、いろいろと忙しいです。ちょっとてれくさいけれど、このまえ、清の夢をみました。夢の中の清は、ぜんぜん変わってなくて、おれが「四国で上手くいってない。」と言ったら、「人生まだまだこれからよ。坊ちゃんならだいじょうぶ。」と言ってくれました。

そういえば、通りすがりにきれいな女性がいたので声をかけてみたら「変人！」と大声で叫ばれました。やっぱりぼくは、どこへ行ってもいない存在のようです。こんな時、清ならどうしますか。清ともっと話しておけばよかったと、後悔でいっぱいです。

今さらですが、お礼を言わせてください。小さいころから支えてくれてありがとうございます。いつかりっぱになって、清と二人で楽しく暮らせるときまで、おれのことを見守ってください。

坊ちゃんへ

おひさしぶりですね。手紙をもらったときはびっくりしました。ずいぶんと大人になりましたね。身長ものびたことでしょう。私も毎晩、坊ちゃんのことを考えます。昔みたいにずっと坊っちゃんの近くでめんどうをみてあげたい。あなたの無鉄砲さが今でも変わってないことにちょっとほっとしました。

坊ちゃんに、ゆいいつ足りないものといえば「自信」ですね。もっと自信を持ちなさい。あなたは自分が思っている以上に強くてやさしいです。

私は、いつもあなたの味方ですよ。どんなにはなれていたってずっと見守っています。これだけは約束します。

清

わたし

10年 エイラ  
Ayla

わたしはエイラです。15 さいです。10 ねんせいです。わたしはひとりっこです。わたしはアメリカのコロラドからきました。コロラドはきれいです。こどものとき、バレエをしました。わたしはラクロスもします。わたしは日本のたべものが好きです。わたしはしゅくだいがきらいです。わたしはせいぶつもきらいです。わたしは7時10 ぶんにおきます。わたしは7時40 ぶんにごうにきます。わたしは3時30 ぶんのうちにかえります。わたしは6時にばんごはんをたべます。わたしはごご11時にねます。

9年 イヴォンヌ  
Yu-Wen

はじめまして。わたしのなまえはイヴォンヌです。たいわん人です。わたしはことし15さいです。いまとうきょうにすんでいます。日本のおかしがだい好きです。アイスクリームも好きです。やさいがだいきらいです。わたしはせい



しんインターナショナルスクールのがくせいです。すきなかもくはびじゅつです。わたしはがっこうのクワイアにさんかしています。クワイアでいろいろなきょくをうたいます。たのしいです。らい月クワイアのコンサートがあります。日本ごはむずかしいとおもいます。わたしは2ねんかん日本ごをべんきょうしました。でも、日本ごがまだへたです。日本ごをもっとべんきょうしたいとおもいます。よろしくおねがいします。

9年 ミナ  
Mina

わたしのなまえはミナです。わたしは14さいです。9ねんせいです。オーストラリア人です。わたしはおとうとが一人といもうとが一人います。うちにねこがいます。わたしはチョコレートがだいすきです。わたしはヴァイオリンをひきます。ほうがんげもします。フリスビーがだいすきです。チョコレートとあんぱんがだいすきです。だいこんとめキャベツがだいきらいです。せいぶつとえいごがきらいです。つまらないからです。わたしはふるいおんがくがすきです。よくおなかがすきます。

9年 ダヨン  
Dayeon

私はダヨンです。私は15さいです。9年生です。私は韓国のソウルからきました。ソウルは東京ににっています。好きな音楽はロックです。私はチキンが大好きですが、べんきょうはだいきらいです。私はお兄さんと、おねえさんがいます。私の好きなスポーツはバレーボールですが、きらいなスポーツはバスケットです。さいきん、ほうがんげとえんぱんなげをれんしゅうしています。私は今年もバンドのメンバーです。今年が3年めです。今年、私はバンドの中でベースをたんとうしています。きょ年まではギターをたんとうしていましたが、トゥートル先生が「ベースをしませんか。」といいました。「いいですよ。」と私がいきました。だからベースにかわりました。こんしゅうの金曜日はうちの学校のバンドのさいごのコンサートです。私は今とてもおなかがすいています。いますぐたべものがひつようです。

## 日本とマレーシア

10年 アビー  
Abigail

わたしは日本とマレーシアにすんでいました。どちらのくにもおもしろいです。どちらのくにもきれいです。どちらのくにもいいです。

わたしは日本がすきです。日本はきれいで、あんぜんですから。わたしはかぶきを見ます。スキーに行きます。テニスをします。毎日おこのみやきを食べます。わたしは、東京タワーにあるいて行きます。ともだちとスターバックスに行きます。

マレーシアはあつかったです。でも、わたしはマレーシアがすきです。なぜならスイミングに行くことができるからです。わたしはともだちとドリアンをたべました。マレーシアはおもしろいくにです。

日本もマレーシアもすむのにいいくにです。

## 日本語 VS 中国語

9年 カルメン  
Carmen

私は日本語より中国語のほうがべんりだと思います。どうしてかというと13億人の人が中国語を話すからです。だから中国語はべんりだと思います。そして、中国語と英語はにていることばです。だからほんやくは日本語よりもかんたんです。

私は中国語を勉強したから、日本語やかんこく語は分かりやすいです。日本語のひらがなとかタカナは中国語よりかんたんです。しかし、世界で日本語はあまり話されていないと思います。

最初は中国語はむずかしいです。だけど、時間がたてばたつほど中国語はかんたんになっていきます。日本語はべんきょうすればするほどむずかしくなります。ですから、日本語より中国語のほうがべんりだと思います。

みなさん、中国語を勉強しよう！

## トルクメニスタンについて

10年 ジェレン  
Jeren

みなさん、トルクメニスタンの国がどこにあるか知っていますか。新しい国ですからほとんどの人が知りません。私はトルクメン人ですから、トルクメニスタンについておしえます。

トルクメニスタンはアジアの中にいちしています。ソビエトれんぼうの一ふでした。

私はトルクメニスタンのじぶんのせいかつについて書きます。私の学校では長いみどりのドレスをきていました。すごくきれいでした。それから、かみは三つあみをしていました。

トルクメニスタンには日本みたいにたくさん的人がいなから、もっとスペースがあります。だから、人は歩かないでタクシーやバスを使います。タクシーは高くありませんから、とてもべんりです。

天気はあついですがドライです。私は日本の天気よりもトルクメニスタンの天気の方が好きです。しかし日本の人とはとてもしんせつなので、私は日本とトルクメニスタンのりょうほうの国が好きです。

## おもしろいけいけん

—日本語スピーチより—

10年 マヤ  
Maya

今日はおもしろいけいけんのはなしをします。

さいしょに、ニューヨークのでんしゃのはなしです。ニューヨークのでんしゃはおもしろいけいけんでした。いろいろな人がはっぴょうしますから、とてもにぎやかです。しずかじゃありません。

次に、日本のレストランでのけいけんです。日本のレストランはアメリカとフランスのレストランととてもちがいます。ウェイターはとてもていねいです。アメリカとフランスのウェイターはカジュアルです。ときどきしつれいなウェイターがいます。アメリカとフランスのサービスはときどきおそいです。日本のレストランのサービスはだいたいはやいです。わたしはおなかすいて、はやくたべたいですから、このサービスはいいです。日本のレストランのかいけいはテーブルではらいます。アメリカとフランスではチップをあげなくちゃいけません。アメリカのチップのせいどがとてもきびしいですから、アメリカのレストランのかいけいはたかくなります。たべものがたいていやすいです。でも、たくさんチップがありますので、かいけいはたかくなります。だから、これはわるいシステムです。

次に、タイでスピードボートにのったけいけんです。ドルフィンを見ました。ドルフィンはくろくてとてもめずらしかったです。めずらしいドルフィンを見てとてもうれしかったです。スピードボートはとてもはやいですからすこしこわいけいけんでした。あとで、わたしのかみはからまって、たいへんでした。いたかったです。でも、おもしろいけいけんでした。

ありがとうございました。いいひをすごしてくださいね！

9年 えり  
Aeri

きょうは、おもしろいけいけんのはなしをします。さいしょに、かんこくに行ったときのはなしです。カフェにいきました。カフェにいったときにそこにいた人たちがわたしをかんこくのゆうめいじんとまちがえました。クリスタルという人とまちがえました。こわかったです。いっぱい人がきてセキュリティーがきました。

次に、ロサンゼルスにいったときのはなしです。ターゲットというスーパーにいきました。かみのせいひんのばしょにひとがきて、なんさいですかとききました。それでかいけいのばしょにならんでいたときにそのひとがうしろにいました。わたしはこわかったのでこんでいるみせにはいりました。それでそのひとがいなくなりました。

次に、ラスベガスにいったときのけいけんです。じさぼけになったのであさ3じに、CVSというくすりやさんにいきました。ラスベガスはいつもひとがいっぱいいるのでおもしろかったです。でもみんなよっぱらっていてけんかをして

いました。ふたりのおんなのひとがかみのけをひっぱっていました。あと、はしのうえをあるいていたらコスチュームをきているひとがいっぱいいました。ちょっとこわかったけど、たのしかったです。

さいごに、日本のよよぎこうえんではなみをしたときはなしです。さくらと木がきれいでした。ともだちといっしょにいきました。サッカーをしたりいろいろなひとたちとあそんだりしました。とてもつかれました。あと、よよぎのドッグランについて大きいいぬをさわりました。かわいかったです。

ありがとうございます。

## 9年 ジェネヴィー Genevie

わたしはりょこうをするのが好きです。外国と私の国のおもしろいけいけんのだいいちいんしょうをはなします。

はじめにシンガポールでおもしろいけいけんをしました。私はシンガポールに帰った時セントリーサホテルに行きました。セントリーサホテルにたくさんクジャクがいます。クジャクはホテルの中を歩きます。プールで私とかぞくが食べていた時、クジャクは私たちの食べ物をぬすみました。すう年前にセントリーサにはさるがいました。でもりょこうしゃはさるがきらいですから今は、さるがいません。

次にアメリカでのけいけんです。私はアメリカのカリフォルニアに行きました。カリフォルニアのサンフランシスコに行きました。サンフランシスコのだいいちいんしょうは「かぜがつよい」でした。人はとてもしんせつです。サンフランシスコはいろいろな食べ物とレストランがあります。サンフランシスコのケーブルカーはたのしかったです。ケーブルカーにのった時色々なみせとビルを見ました。ゴールドゲートブリッジはきれいでした。

さいごに日本のだいいちいんしょうです。私とかぞくは5年前に日本にきました。私の日本のだいいちいんしょうは、「人がしんせつ」でした。日本のサービスははやいです。わたしとかぞくは買い物をしました。みせにたくさんかわいいものがあります。はらじゅくに行きました。はらじゅくはこんでいました。みちで歩くのがむずかしかったです。でもたのしかったです。

私の外国のだいいちいんしょうはよかったです。

## しょう来のゆめ

10年 きあら  
Ciara

私は高校をそつぎようしたら、大学に入ろうとおもっています。しょうらい、本のへんしゅうしゃになりたいからです。本のへんしゅうしゃになるためには、大学でいろいろべんきょうしなければなりません。いちばん入りたいと思っている大学はイギリスにあります。イギリスはきれいです。そしてイギリスの大学は3年だけです。私のあにはスコットランドの大学にっています。私はハリーポッターの hogwarts みたいな大学にいきたいと思っています。大学でえいごの古典文学をべんきょうしたいです。

私はちいさいとき、ものがたりをかくことと本をよむことがすきでした。小学校のとき、友だちとたくさんものがたりをかきました。いまもたくさんものがたりをかいています。

いまは、大学のきょういくがくぶに入るために、べんきょうしています。いっしょうけんめいべんきょうして、大学に入って、いい本のへんしゅうしゃになりたいと思っています。

10年 ユンジェ  
Yoon Jae

私は高校をそつぎようしたら、大学に入ろうとおもっています。私は中学のときから、心理学がとてもおもしろくて、勉強するのがとても楽しかったです。だから、大学に行ったら心理学の勉強をしたいです。しょう来は心理学のカウンセラーになりたいです。心理学のカウンセラーになるためには、大学でいろいろ勉強しなければなりません。一ばん行きたい大学は今はわかりません。

私は人間の心理はとてもおもしろいとおもいます。うそをつくとき、かなしいとき、うれしいとき、そのかんじょうがかおに出るから、私は心理学の勉強をしたいです。心理学の勉強は11年生になると、学校ですこしできるとおもいます。だから来年を楽しみにしています。私は大学に行ったら、子どもの心理をせんもんに勉強したいです。

でも、私は子どもの心理の勉強はとてもむずかしいとおもっています。子ど

ものときから心に傷がある人が大人になったら、その心の傷がもっと大きくなるかもしれません。その人がかなしくなったら私もかなしくなってしまう。だから、もし私が心理カウンセラーになったら、子どもたちの心の傷をいやしたいです。心理学の勉強は私のしょう来のゆめです。

10年 美夜  
Mia

私は高校をそつぎょうしたら、大学に入ろうと思っています。しょう来、アーティストか先生かスポーツのコーチになりたいです。その仕事をするためには、大学でいろいろ勉強しなければなりません。一番行きたい国は、アメリカです。アメリカのイーストコーストに行こうと思っています。イーストコーストの大学で、きょうようがくぶに入ろうと思っています。びじゅつきょういくの勉強をしたいと思っています。でも、大学をそつぎょうしたらどんな仕事をするのか今はまだわかりません。

しょう来のことはわかりませんが、今自分が好きなことはよくわかります。バレーボールです。5年前に、バレーボールを始めました。この5年間、バレーボールをつづけてきました。今、バレーボールは私の一番好きなスポーツです。だから大学でもバレーボールをするかもしれません。びじゅつも大好きです。小学生の時、アーティストになろうと思っていました。来年は、びじゅつの AP クラスをとろうと思っています。私はびじゅつの先生になるかもしれません。先生になるなら、小学校の先生になろうと思っています。子供が大好きで、教えるのも好きですから。がっしょうもすきです。今年、がっしょうをたくさんやります。たぶん、大学でもがっしょうをつづけます。

しょう来、どの大学に行くのか、どの仕事をするのか、今はわかりません。けれど、大好きなことをつづけて、いっしょうけんめい勉強していたら、いい大学に行けると思います。

## 視点を変えてみれば

教科書「ちょっと立ち止まって」より

9年 珠里

Juli

私は小さい時から、人と話したり友だちを作ったりするのが辛いと感じることがあった。もちろん友だちはいたが、普段あまり話さない人や、大人に対して話をするのがとても不安だった。やがて自分の中では不安がなくなっても「人があまり私に話しかけてこないのはなぜ……。」と思いながら過ごしていた。

けれどある日、あまりよく知らない同級生に思い切って話しかけてみた。二人で笑いながら話していると、その子が言った。「ずっと珠里が私を嫌っていると思ってたから話しかけなかったけど、そうじゃなかったのね。」それを聞いて初めて考え方が変わった。人は私に対して、怖そうな人だという印象をもったり、緊張感を感じたりすることがあるのかもしれない、ということに気づいたのだ。また、いつも他の人を疑って自分の方から話しかけないでいると、自分を正しく理解してもらえないのだ、ということにも。

それから考え方を換え、積極的に人と話すようになった。いろんな人と友だちになり、以前よりもずっと楽しい毎日を過ごせるようになった。視点を変えることによって、長い間悩んでいた問題を解決することができたり、もっと楽しい毎日を過ごしたりすることができるのだ。私にとって視点を変えることは、人生を変えることでもあった。

いつまでも人に対して消極的な考え方をしていたら人生はとても寂しかったかもしれない。皆さんも問題が起きたときには、いろいろな視点から考えてみませんか。意外な解決方法が見つかるかもしれません。

10年 彩

Sae

ものの見方を変えること、それはよく言われることです。時々、何かで悩んでいると、私の母は「それは一見嫌なことのようにだけれど、ちょっと考え方を考えてみたら嬉しいことになるのでは……。」と思ってもよらぬことを言ってくれます。例えば、三角形だと思っていた形が角度を変えて下から見てみたら円形



で、実は三角錐だったりするように。

私は以前からバスケットボールが好きで、バスケット部に入っています。けれども試合の時、私にボールがパスされたらどうしよう……、と不安でパニックになるので、なるべく上手なチームメイトにパスするようにしていました。

私はドリブルがあまり得意ではないので、自分でボールを持って動き回るのが怖かったです。けれども、自分がガードされていないとき、思い切ってシュートしてみたら入ったのです。それから自信がついて、たとえ上手なチームメイトがガードされていてパス出来なくても、私は頑張ってシュートが出来るようになりました。さらに、苦手なドリブルでも敵のプレイヤーの横をすり抜けて動けるようになり、得点出来る喜びをしまった私はどんどんシュートするようになりました。それから、さらに練習して、バスケットボールの楽しさがわかってきたのです。

今までは、自分があまり上手ではないため人に任せ、常に誰かに助けてもらおうとしていたから、突然パスが来るとパニックになっていたのです。自分でシュートする、どんどんドリブルするというように考え方を変えたことで、パニックにならずに落ち着いて考えながらゲームが出来るようになったのです。私はこれからもバスケットボールを楽しみながら積極的にプレーし続けたいと思います。

## 夢一夜

夏目漱石『夢十夜』より

10年 チェサピーク  
Chesapeake

私は夢を見ても、たいてい朝目覚めるとすべてを忘れている。他の人がはっきりと夢を覚えているのを羨ましく思う。けれども私も時々生きいきとした夢をみる。

こんな夢をみた。

広い野原の中を歩いていると、野原の向こうに誰かが背中をこちらに向けて立っていた。その人が振り向くとそれはアメリカの祖父だった。私は大喜びで祖父に向かって走り出した。「あ〜、大きくなったね。元気かい。」と祖父が言

った。「うん、元気だよ。」と私は答えた。「それはよかったね。今は何年生かい。学校楽しいか。」と祖父は聞いた。「今、高校一年生です。学校はびっくりするくらい、とても楽しいです。」と言うと、「それは、いいことだね。」と祖父は嬉しそうに言った。「ねえ、お爺ちゃん。それは何ですか。」祖父の背後にポップコーンの形をした飛行機が停まっているのに気づいて私は尋ねた。「乗りたいかい。」と、祖父がにこりとほほえんで言った。「うん、乗る乗る！」

二人で一日中、雲の上を飛んでいた。そして、共に人類の未来の問題、人生の苦勞や宗教などについて祖父と何でも話した。しかしこんなすてきなひとときは永遠には続かなかった。なぜならこれは夢だから……。「あー、もう朝日だ。あなたは起きないといけないんだね。」急に祖父が悲しそうな顔をして言った。「えっ！やだ。もう何年もお爺ちゃんに会っていなかったのに。家族みんな、お爺ちゃんがないから寂しいんだよ！」と私は叫んだ。

祖父は何も言わず、私を抱きしめてくれた。温かい。私の体全体が幸せな気分でいっぱいになった。その時、私は目を覚ました。その瞬間、目から涙がこぼれてしまった。泣く私は嫌いだ。

9年 英里香  
Erika

目を閉じると現実にはない所へ行ける。目を閉じると瞑想の世界に入ることができる。私はこの時間が世界で一番好きだ。何時間もの時間が一瞬で過ぎるようなこの時間がなによりも好きだ。悲しい気持ちも辛い気持ちも、少しの間忘れることができるこの時間が好きだ。

こんな夢をみた。

目が覚めている感覚の中で、私はどこから飛び降りたわけでもないのにただ空から地面に向かって落ちていた。不思議とあまりこわくなかった。むしろ風が顔に当たって気持ちよかった。景色もきれいだった。遠くに黄緑色の芝生が広がっていて、空には雲が一つも見当たらない。風は少し冷たかったが、太陽の日差しが暖かく心地よかった。もう少し、もう少しだ。あともう少しで地面に着く。目を閉じよう。あと5秒、あと4秒、3秒、2秒、1秒。

目を開けると私の部屋の天井が見えた。少し寂しかった。

## 豊かな言葉 〈短歌創作〉

棚の上動かず座るピンクの猿 守れよ守れ祖父母の家を

9年 ニコル  
Nicole

私は反復の「守れよ守れ」を短歌の中に使いました。私は「守る」の字を歌の中で一番目立たせたかったのです。このピンク色の猿は今まで思っていた、ただのぬいぐるみではなく、祖父母の家と命を守ってくれている神様の姿だと気づきました。「守る」を二回繰り返すことで、「守る」という言葉の大切さを目立たせるようにしました。また、私は「猿」を漢字で書くことにしました。漢字、ひらがな、カタカナの「猿」を並べて書いてみると、漢字の「猿」は、一番かたい感じがして、強く見えたのです。祖父母の家を守る強い猿を漢字の持つ強さで表すことにしました。

この歌は、私自身の発見を表しています。ずっとただのぬいぐるみだと思っていたピンク色の猿にもっと深い意味があったのだと気づき、ぬいぐるみの猿の「守る」という役割を歌にしてみました。

風に乗る雪の牧場ふと止まる ふるさと思う我が愛犬

9年 花衣沙  
Kaisa

この短歌には体言止めと文語体と倒置が入っています。結句を体言止めにして、第四句と結句を倒置にしました。さらに結句に「我が」という文語を入れました。

この短歌は、愛犬のスコットランド犬と山の牧場に行った時のものです。私が犬のリードを外してあげると、犬は大喜びで、風に乗るように思い切って走っていました。その時ちょうど雪が降り始めたため、私は風に乗って走る犬と風に乗って舞い落ちてくる雪の様子を重ねて詠みました。その後、私の愛犬が急に止まり、遠くをじっと見つめていたので、もしかしたら本能で自分のふるさとのスコットランドを思い出したのではないかと思い、短歌にその場面を表現しました。

寒き夜ラケット持ちて我は生徒 若さに勝るコーチの心

9年 史織

Shiori

真冬の寒い夜、手は凍り、ラケットも持てないような状態でテニスをしている私たちに比べて、一番薄着をしているコーチは寒さを感じていないように堂々と、元気よくボールを打っているため、本当に元気で「若い」のは生徒ではなく、コーチの心ではないかと思っています。「私たち生徒」ではなく、「我は生徒」と、文語体と漢字を使うことで、生徒の元気や若さを力強く表現しています。また、子供らしくにぎやかな生徒の実際の姿を想像することも可能です。さらにコーチの「心」を漢字で書くことで、コーチの心の強さや若々しさを表しています。漢字を利用することで、歌全体がいきいきとします。

風吹けば木にしがみつく最後の葉 放したくない夏の思い出

10年 彩佑

Ayu

この歌は季節の変化を感じた風景について詠んだものです。空気が冷たくなり、木の葉が落ちていく光景は冬の初めによく見られますが、この歌では季節が移り変わってほしくない思いを描いています。それは、夏の楽しい思い出が終わってほしくない思いと、いずれ夏が恋しくなるだろうという気持ちを表現しています。この気持ちを、冬のために備える木の葉に例え、最後まで放さないという思いをこめました。

歌の中では、擬人法を使った「木にしがみつく」や、体言止めを使った「夏の思い出」などの表現技法を入れました。これらの表現を使うことによって、写真のような、印象に残る光景が表現されると思いました。さらに、夏と秋の終わりを示すために「最後の葉」と表現し、最後の一枚の葉が風の中で木につかまっている光景を詠みました。葉っぱは、ただ木にぶら下がっているのではなく、「しがみつく」を使うことによって、一生懸命に最後まで残っているという様子をイメージしました。

## 私の『おくのほそ道』

－熱海（日本）－

10年 ソオデウイ  
Saw Dewi

長い坂道は上り下りの繰り返し。別荘への道のりは修学旅行以来の難関であった。なぜこんなに坂道が多いのか調べてみたが理由は見つからず。ただ、12都市の斜面市街地の割合ランキングで熱海市は一位であることはわかった。しばらく歩いてると熱海梅園に行き着く。

容赦なく 春一番に 梅花散る

やっと別荘に着き、一休みした後荷物を置いて熱海サンビーチへ向かった。地名が「阿多美」から「熱海」へと変わったのは、海から熱い湯が湧き出たのが由来だそうだ。今も熱湯が湧き出るおかげでここは有数の温泉地である。

自然は不思議で未知な生き物だ。歴史の中である日突然現れ、長い時を経て生きていく。時代が変わり、人が入れ変わってもそれを物ともせず顔色ひとつ変えない。一方で、人工的に建てられた熱海城も海とは違う魅力がある。堂々と山岳のてっぺんに立ち人はそれに魅せられる。城の最上階から見渡す景色は、この建物が何年も見つめている景色。一体どんなことを思いながら同じ景色と人の営みの繰り返しを見続けているのだろうか。

春風に 潮の含み香 運ばれる

－ラスベガス（アメリカ合衆国）－

10年 悠那  
Yuna

ネバダ州にあるギャンブルで有名な大都市ラスベガスへ行った。1930年代に、砂漠しかなかったラスベガスへ多くの労働者が集まり、飲酒やギャンブルが解禁となった。その中にはギャングになる人々も多く、この場所は一般人が立ち

寄れない異様な空気がただようようになった。

そんなラスベガスを大きく変えた男の名はベンジャミン・シゲール。ニューヨークのマフィアだった。当時ラスベガスのダウンタウンにはカジノバーが数件あった。彼はそこから10kmほど離れた砂漠の真ん中に、リゾートホテルの建設を思いつく。そのホテルに彼は恋人のニックネーム「フラミンゴ」と名付けた。最初のうちこそ赤字続きだった経営も後にはその名に相応しい華やかなホテルとなったのだ。

この場所で、数百ドル、いや何億円という高額の大金をいとも簡単に使う人もいれば、手持ちのわずかなお金の夢と運をかける人々もいた。夢を叶える者、夢破れる者。砂漠の楼上には様々なドラマが連日連夜繰り広げられている。

蜃気楼 砂塵に舞い散る 夢と欲

ーパリ (フランス) ー

10年 真未

Mami

フランスの首都パリにあるコンコルド広場は、一見普通の大きな広場に見える。しかし歴史を振り返ってみると、この広場は意外な過去を持っていた。

今から約200年ほど前、この広場には公開処刑用のギロチンが設置され様々な人物の首が斬り落とされた。人々は公開処刑を娯楽の一つのように喜んだという。処刑された人々の中には当時の君主ルイ16世の妻、王妃マリー・アントワネットもいた。彼女は非常に自分勝手な人物として人々に記憶されていて、フランス革命前、貧困にあえぐ農民たちに「パンがなければお菓子を食えばいいじゃない。」と言ったのは有名なエピソードだ。私もこのエピソードを鵜呑みにしていたが、彼女が実際にこのような発言をしたとはどこにも記録されていないようだ。しかも王妃は様々な不条理に遭いそれらが処刑の理由となってしまったという。1793年10月16日、王妃はギロチンで露と消えた。

現在は市民の憩いの場としてや観光地として賑わっているが、歴史を紐解くと全く違うコンコルド広場が見える。何よりマリー・アントワネットが我が儘な王妃だったというのも史実ではないと知った。私は今まで間違った歴史を信じていたようだ。人は曲解をまるで正論のように飲み込んでしまうものだ。

無情なる 悲劇見つめる 紅き荆棘<sup>バラ</sup>

飛行機を乗り継ぎインドの様々な町を訪れた。アジャンタは川沿いの断崖に掘られた大小 30 の石窟が集まる仏教寺院で、エローラは仏教、ヒンドゥー教、ジャイナ教の 34 の石窟からなる。どのようにして古人がこのような巨大な空間を掘ることが出来たのだろうか。オーランガバッドではタージマハルをモデルとしたビービーカマックバラーを、ムンバイでは差別と戦ったガンジーが活動拠点としていた住居を見学した。ゴアでは市内のパナジ教会、ボムジェス教会や聖フランシスコ教会を訪れた。

世界遺産に登録されている石窟や歴史的建造物は全て壮大だったが、私の記憶に最も残ったのは、それぞれの場所に行く途中で出くわした子供達がお金を求め、箱を叩き、ダンスを披露してこちらの気をひこうとしている光景だ。

私はこれまで物乞いをする人に出会ったことがない。貧しい生活を送っている多くの人達を目の前にして、この国の貧困層の厚さにただただ驚く。人間が人間らしく生きるために持っている権利とはいったい何なのだろうか。

冬の日　眼差し熱く　物を乞う人

さくらを詠む

12年 ペイジ  
Paige

はらはらと  
ちりゆく桜  
雪のよう

11年 サンウー  
Sunwoo

桜、見ただけでも幸せになる。  
冬には雪をプレゼントして下さった。  
そして、春には桜をプレゼントして下さった。

12年 ジェシカ アンチア  
Jessica An-Chia

ひそやかに  
はかなき命  
雅やか

12年 シドニー  
Sydney

花がさく  
桃色の雪  
うつくしい



## 私の好きなところ

—フロリダ—

11年 トリ  
Tori

フロリダにおばあさんが住んでいますから、私がよく行く所はオーランドです。オーランドにディズニーワールドがあります。ハリウッドのスタジオが一番好きなディズニーパークです。今年の夏休みにハリウッドのスタジオに行ってみたいです。ハリウッドスタジオでタワー・オブ・テラーにのってみたいです。タワー・オブ・テラーはとてもこわそうです。でも、たのしそうです。ハリウッドスタジオにロックンローラーコースターもあります。ロックンローラーコースターにはのったことがありません。でも、夏休みにロックンローラーコースターにのろうと思っています。もう一つ、私がよく行く所はホモサッサスプリングスです。ホモサッサスプリングスにいろいろなどうぶつがいます。ホモサッサスプリングスで一番いい所はマナティーを見る所です。だから、マナティーボートのツアーが有名です。ほかのアクティビティーがあります。ハイキングとバードウォッチングとピクニックをしたことがあります。フロリダは夏あついで、たくさん水をのんだほうがいいです。

—舞浜—

11年 サラ  
Sarah

私の好きなところは、舞浜です。舞浜は、浦安にあります。舞浜に、6年かんとすんでいました。たくさんさくらの木があります。舞浜は、たのしいところです。舞浜に、ディズニーランドがあります。さいしょに舞浜に来た時、ディズニーランドの年かんバスがありました。すごくたのしかったです。私の好きなライドは、スプラッシュマウンテンでした。私のいえの近くには、川がありました。ときどきその川で、つりをしました。でも、たのしみにいっただけです。魚はつかまえなかったです。

イクスピアリも、舞浜にあります。イクスピアリは、ショッピングモールで

す。イクスピアリには、レストランといろいろなもののみせがあります。イクスピアリでは、けしょうひんや、ぬいぐるみがかえます。

## —スイス—

11年 アンチャル  
Anchal

私の今までの旅行の中で、スイスがだい好きです。スイスのしゅとはベルンです。スイスは冬ににんきのところ。チューリッヒとジュネーブはスイスの大きなまちです。スイスはぶっかが高くて人々がいそがしそうにしているところ。電車が一番使うのりものです。そこには、ぼくじょうがたくさんあります。高い山のさんみやくやチョコレートが有名です。私たちかぞくはきよねん、3月にスイスにいきました。私たちはルツェルンに2週間たいざいしました。とてもゆっくりすごせました。クッキーこうじょうでおいしいクッキーをたべて、チョコレートシェイクをのんで、おいしくてかんどうしました。チーズフォンデュもとてもおいしかったです。

ユングフラウのでんしゃにのって、山にいきました。そこでとてもきれいなけしきを見ることができました。そこで、はじめてスノーボードができて、うれしかったです。だから、わたしはスイスをおすすめします。もういちどいったら、スキーとスノーボードをやり、またたくさんチーズフォンデュを食べたいです。



# お花見で一句

春なのに  
薄い桃色  
雪が降る

アチ

12年 あな  
Anna

さくら餅  
花見と共に  
至福かな

木子

12年 木子  
Muzi

みどり葉に  
桃色つとら  
桜空

海利

12年 海利  
Harry

爽やかに  
桜の嵐  
春が来た

レシマ

12年 レシマ  
Reshma

風吹きて  
花びら落ちる  
さくらかな

ミカ

11年 ミカ  
Mika

さくら香に  
春の木漏れ日  
喜びを

瑞永

11年 瑞永  
Seoyoung

さくらさく  
とまはちいさく  
あさやかに  
ケイティ

11年 ケイティ  
Katherine

さくら木に  
花びらそよそよ  
風が小く

アリス

11年 アリス  
Ye Weon

舞い落ちる  
気持ち囁く  
花吹雪

女伊寿

11年 ジョイス  
Joyce

## 17歳の私

自分の内面の葛藤を描く（太宰治「走れメロス」の学習より）

11年 和月

Kazuki

私がこの学校に来る前、まだ小学生だった頃、社会の授業で世界の貧困格差の問題について大きなプロジェクトにクラス全体で取り組んだことがあった。とにかく成功させようと、皆が真剣だった。様々な役割を皆で分担することになったのだが、一番大切なのは このプロジェクトを主導するリーダーだった。そこで先生が選んだのはクラスでもよくできる女の子で、皆も納得して祝福した。

問題はここからだった。様々な役割の担当者がリーダーシップをとることができるにもかかわらずその先生はそのリーダーの子に全ての重要な役割を課したのだ。みんなが様々な提案をしたり、他の子を推薦したりしているにもかかわらず、それらを一切無視して決められた。望んでも何も与えられていない子もいれば、一方では全てのポジションを与えられている子もいる。全てが「先生」という一人の人の独断によって決定されてしまった。私はその瞬間、この世界で生きていくということはどういうことなのか、人間とはどういうものかを理解したような気がした。皮肉にも、これが、「平等」をテーマにしたこのプロジェクトの中で学んだ一番大きなことだった。結果として、みんなはやる気を失い、プロジェクトはうまくいかなかった。

私は17歳になった今も、このことを時々思い出す。私は基本的に先生がお気に入りの生徒を最優先することには授業外であつたら問題ないと思っている。それによっても授業や学校行事に支障が出たら話は別だが、先生も人間である限り、このような感情を持つこともある程度のことはしょうがないことだと思っている。

しかし、この件に関してはプロジェクトの運営に支障が出てしまったのが明らかだった。社会に出て会社に勤めているのであれば、有能な人にチャンスがめぐってくるのが条理だが、学校は利害で動いている組織ではない。だから有能な人一人だけにチャンスがめぐまれることに疑問を感じずにはいられない。

学校とは生徒一人ひとりが学ぶ場所ではないのか？そして先生は生徒全員平等にチャンスを与え成長させることが仕事なのではないか？生徒個人に対する好きや嫌いの感情はあっても、それを表面に出さない努力と全員に平等に接する努力をするのが先生の義務であり、責任ではないのかと疑問に思った。その先生は授業で、人類は皆平等だと訴えるような人だった。世界平和を心から望み、世間で起こる非道な罪を嘆き悲しむような人だった。それなのに、この人は世界について語る以前に自分の教え子さえも平等に扱えないのかと、小学生ながらに私は絶望したのだ。

しかし、今になってふと、どうして私はあんなに絶望したのかと疑問に思い始めた。「先生には期待していない」と思っていたはずなのに。本当はこころの奥底では先生という生徒にとって絶対的な存在である大人は完璧な人ではないといけなさと、皆に優しく平等で、尊敬できるような人格を持つ人でないといけなさと、自分が一番信じたかったのかもしれない。結局私は自分の理想を人に押し付け、一人で勝手に期待して勝手に絶望していたのだ。

人間は矛盾でできている。自分は絶対にしないと信じていたことをしているときがある。私だって、あの先生だって。

「しょうがない」というのはとても便利な言葉だ。適当に考えているようで、実際は考えた末に全てをあきらめてしまっているのだ。嫌なことがあったら気にしているのに気にしないようにふるまうのだ。私もいつも、しょうがないと思うことによって全てを受け入れていて同時に見放している。そうやって自分の心のバランスを保つことにしている。自分の理想とはどうしても噛み合わない現実だからこそ、穏便に済ますためにはどこかで妥協していくしかないのだと思った。

## わたしの「小景異情」

室生犀星「小景異情」を随筆に書きかえてみる

11年 百恵

Momoe

故郷は遠くにいて思うものだ。そして悲しく謳うものだ。

我が故郷において特にこれといった思い出はないが、東京の雑踏の中にいるとふと思い出してしまう節があり、どうしたものか帰郷してしまった。しかし、ここはもう私のかつていた場所ではない。あのこぢんまりした家も、木造の錆びれた校舎も、林檎や李の木が生えていた果樹園も、跡形も無く消えてしまっていた。居間で茶を飲んでいた父の姿も、私をよく怒鳴っていた先生の姿も、日に焼けて田舎者然とした学友たちの姿ももうここにはない。今も美しい犀川だけが私の寂寥とした哀しさを癒している。

思えば、東京にいた頃の方が我が幼少期の情景が鮮明に蘇るようであった。青葉若葉が生い茂る乾いた路の上を走り回った記憶は私の中で永遠に鮮やかであった。しかし、変わり果てた故郷を眺めても、幼い私が抱いていた感情が湧き出てくることはもはやなかった。このように、故郷に対して愛想も小想も尽き果ててしまうのなら、たとえうらぶれて異土の乞食になろうとも、帰ってくるべきではなかったのだろう。

私はもう二度とこの故郷に足を踏み入れることはないだろう。しかし、私は故郷を捨てるわけではない。我が故郷は我が心にある。一人都の夕暮れに、故郷を想って涙ぐむような郷愁の心を持って東京に帰ることにしよう。

11年 南帆

Naho

生まれ育った懐かしい故郷、ケニアに私は70年ぶりに再び帰ってきた。私が小学生だった頃、父は異国での成功を夢見、その父の夢を一緒に追うために家族揃って当時経済産業の発展著しかった日本へ移住したのだ。私が生まれた故郷ケニアのナイロビと比べると、移り住んだ日本の首都東京は近未来世界のように感じられた。そんな冷たいばかりに澄ました東京に住んでいると、大自然に囲まれた故郷を恋しく思う気持ちがいつも心にあった。

私は今ではずいぶんと年老いてしまった。少年の頃、父を助けるために働いていた工場で有害物質を吸い続けた結果、私の肺には腫瘍がくすぶっている。余命がどれくらいあるのだろうか。最後に思い出の土地に戻るのなら、今しかないと思ったのだ。

苦勞して貯めた貯金を使い、やっとの思いで海を渡りアフリカ大陸の土を踏んだ。だが、あの頃の故郷はこのナイロビにはもうなかった。昔の面影は影を潜めまったく違う風景を呈していた。空港に着陸した瞬間から驚きの連続であった。整備された飛行場には以前咲き誇っていた美しい花々はなく、ありふれた景色として目に映っていた動物たちのんびり遊ぶ姿もなかった。その代わりこの首都は東京に似て若者の活気で溢れていた。まるで以前とは別世界だった。

やはり一度後にしたこの土地にはたとえ遠い異国の地で病に倒れようとも帰ってくるころではなかったのだ。私が心から愛したあの大自然はどこにいつてしまったのだろうか。裸足で走り回った草原と、大きく深呼吸をしたくなるような澄み切った空気はどこにあるのだろうか。あたりは今私が住んでいる東京となんの変わりもない。高層ビルに張り巡らされたガラス窓に、キラキラとした真夏の太陽が反射し、わたしの老いたショボショボする目を突き刺した。

長年恋いこがれた故郷へ戻るといふ思いを果たしたが、私のいる場所はやはり東京であると思知らされた。そう思い知った以上は一日も早くそこに戻り、クーラーの効いたリビングで毎週日曜日の楽しみであるドラマでも観ながらこの疲れた体を休めようではないか。そしてあの東京で死を待つのだ。幼き頃のナイロビは私の心奥深くにしまっておくことにしよう。

11年 りさ

Risa

故郷に帰ってきたのは何年ぶりだろうか。この数年どれほど故郷のことを想っただろうか。東京で錦を飾るまでは帰らないと決めていたはずなのに、故郷がとてつもなく恋しくなりとうとう秋田行きの切符を買ってしまったのだ。東京駅を出発し、新幹線の窓から故郷の景色が近づいてくるのを見た時は喜びを覚えた。しかし、鮎川の駅を一步踏み出すと、何とも言えない違和感を感じた。何年もの間、心の中で大切にたたためていた故郷の景色とはどこかが違った。何故なのだろう。畑や田んぼの風景は変わらず、所々に昔からある家々も姿をそのままに佇んでいる。

その時私はふと思ったのだ。もしかしたら鮎川の景色は1ミリたりとも変わ

っていないのかもしれない。変わったのは自分自身なのだ。故郷を離れ東京に出てからというもの、多くの経験を積んできた。それらはこの故郷にいるかぎりには経験することができなかつただろう。辛い苦勞もたくさんし、悲しみ、喜びもあった。そんな経験が、私の心、私自身、そして故郷というものの意味も変えてしまったのだろうか。もう昔のように故郷の心地よさを感じられなくなっている自分に気づいた。今となつては故郷の路地の角にある店の昔懐かしい見慣れた看板を見ても、母の作る温かいきりたんぽを口にしても、昔のようにあのホッとするような安心感を得られないのであろう。

東京にいる間、ひとりぼっちが寂しく苦しくて、優しい家族のいる故郷を恋しく想っていたが、やはり一度後にしたからには、その故郷にはもう帰るべきではなかつたのだ。東京にもどれば、またたくさんの苦勞が私を待ち受けているだろう。それでもそんな時は、夕暮れ時に一人東京の小さなアパートで、昔懐かしい故郷を心の中で何度も想い、涙を流すだけでよいのだ。もうこの故郷には決して帰るまい。そしてこの決意とともに、今度は東京行きの新幹線に乗ろうと思う。



2年 イソナ

Isona



# 修学旅行



## 一番楽しかったしゅう学旅行

5年 彩雅  
Ayaka

私はしゅう学旅行で富士山 YMCA に行きました。私の初めてのしゅう学旅行だったので、少しドキドキしていました。

しゅう学旅行で一番楽しかったことは、キャンプファイヤーに行ったことです。夜にキャンプファイヤーに行ったのでとても寒かったです。最初はマシュマロを焼いて、ちょうど良く焼けたところで焼くのをやめました。それからデービス先生の所に行ってチョコレートとキャンプファイヤーで焼いたマシュマロをクッキーではさみました。とてもおいしかったです。友達といっしょにマシュマロを焼いて食べるのはとても楽しかったです。目の前にきれいな火があるのでとてもうれしかったです。寒かったはずが、とてもあたたかくなりました。

私がキャンプファイヤーをなぜ一番楽しかったと思うかという、初めてのキャンプファイヤーでみんなできれいな火を目の前にして食べるマシュマロが特別においしかったからです。私は、もう一度キャンプファイヤーをしたいと思いました。

## フジヤマ

6年 かれん  
Karen

今年わたしたちは山なしけんに行きました。ふじきゅうハイランドののりものにのったのが、わたしのしゅう学りょ行の一番楽しかった思い出でした。

ふじきゅうハイランドについたときわたしの目の前にあったのりものは「フジヤマ」でした。わたしはマリッサ、ジアナ、メアリーとエマといっしょにいました。目の前にフジヤマがあったのでこむ前になりました。5分たったらざ

せきにのっていました。ようやくわたしの番でした。だんだんしんぞうがどきどきうごきだしました。ローラーコースターがうごきだして下を見たらたおれるほどの高さでした。79メートルありました。

一番上についたら、バンという音がきこえて、そのとたんわたしのしんぞうがおちました。こわかったです。目をあけたらわたしの頭がういていました。こわかったけれど楽しかったです。5かいぐらい急におちました。だんだんさいごのポイントが見えてきて、もうすぐしゃしんをとられるところになりました。わたしはしゃしんのために手を上げようと思いましたがちょっとじしんがなくなってしまうのでした。ようやくみんながおちつきました。

プラットフォームについたらたおれそうでした。ざせきからおりたとたんにおちました。もう目がまわって頭がいたかったです。もう一回のりたかったけれども列が2じかんまちでのれなかったのです。

これがはじめてフジヤマにのったけいけんです。またこんどふじきゅうハイランドに行ったらのりたいです。これがわたしのしゅうがくりょ行の一番楽しかったことです。

## 修学旅行の思い出

7年 直美  
Naomi



今年は、清里の K.E.E.P に行きました。一番楽しかったのは二日目でした。その日は農場に行きました。農場で馬のせわをしました。私は農場が大好きです。農場に行く時はいつも、カナダのおばあちゃんの家を思い出してうれしくなるのです。私は1才の時から馬と一緒にいたから、馬も大好きです。だから農場についた時ワクワクしてうれしい気持ちになりました。

農場では四つのグループに分かれました。私はCグループでした。最初はおがくずを他のパイルといっしょにあつめました。おがくずがくつの中に入ってしまったので、取り出すのがめんどうくさかったです。次の仕事は馬のえさを

とることでした。レーキを使って草を集めました。その草をトラックにのせ、私たちは草の上にすわりました。トラックがいきなり動いたので、落ちそうになりました。その次の仕事は馬にブラシをしたり、足についたどろをピックを使ってとることでした。その後すぐに最後の仕事にかわりました。最後の仕事は馬小屋のそうじでした。馬のふんと草を拾って外に運びました。やっと大変な仕事が終わって、馬に乗る時間がありました。

馬に乗った後、ウサギを見に行きました。私はこの日までうさぎをすごくかわいいと思っていました。けれども、ウサギをだいた時、ウサギがいきなり動いて私のうでをひっかきました。最初はなんとも思わなかったけれど、K.E.E.Pに帰った時、私のうでにしっしんができていました。今まで知らなかったけれど、私はお父さんのように、ウサギのアレルギーがあったのです。だからその日からウサギが好きではなくなりました。

修学旅行は楽しかったけれど、その中でも一番よかったことは食べ物がおいしかったことです。5年生と6年生の時の食べ物はおいしくなかったのです。とくに私の食べ物がおいしくありませんでした。私はアレルギーがたくさんあります。とくに食べ物のアレルギーがひどいです。例えば牛乳やピーナッツです。私はアレルギーがたくさんあるので、今までは、ベジタリアンの食べ物しかたべていなかったのです。だから、帰るときにはすごくおなかがすいていやな気分になりました。でも今年はすごくよかったです。みんなと同じのものが食べられるように、ちゃんと牛乳を入れないで用意してくれていました。そして本物のお肉も食べました。デザートもおいしかったです。二日目のデザートはグレープフルーツのゼリーでした。

今年の修学旅行は全体的にすごく楽しくて、今までで一番楽しい修学旅行でした。また来年も楽しみです。

## 乗鞍の美しい自然

8年 鳳乃香

Honoka

私は、東京の中心、学校のすぐそばで生まれ育った都会っ子である。小さい頃から過保護な両親に育てられて、今まであまり森や山などで遊んだことはな

かった。今年の修学旅行で、山へハイキングに行くとき聞いた時はあまり喜ばなかった。なぜなら、山には、私の大嫌いな虫たちがうようよいそうだし、山頂までハイキングで登るのは大変そうだからだ。その上、寒がりの私はこれからの季節は、山の近くは寒くなっているはずだと思い、ちょっぴり、ゆううつな気分になっていた。

私は泊まるキャビンに着いてからも、翌日の山登りのことが、心の底のほうで気になっていた。友達との楽しい会話の途中でも、ふっと暗い気持ちになって、皆のように、おもいきりウキウキした気分にはなれなかった。しかし、この乗鞍での修学旅行で一番驚いた出来事が、その二日目起こった。

翌朝、歩いて宿を出発。冷たい空気が肌にふれ、登る前から鳥肌が立った。日は差していたが、かなり寒かった。「このまま山の上までハイキングするなんてどうなるんだろう」と不安だった。道は悪く、石はごろごろ、木の根や草が生えた道は途中から坂道が続き、一步を踏み出すのも大変になっていた。「山登りハイキングなんて最悪だなあ。」と心の中でつぶやいた。まだ到着には時間がかかりそうだった。疲れてふっと目を空に向けた。その時、目の中にとびこんできたのは、私の大好きなブルーの晴れた空だった。「あっ、きれいな色!」「日がさしてキラキラしている。」「どこかで見たことある空だなあ。」その空は、数年前に、家族旅行で行った北海道の黒岳という山の空に似ていると思った。「山の上で見る空ってみんな似てるなあ。」そう思った時、何かが自分の中で変わった。何となく、山の空気がおいしく変わったのだ。足もちょっと軽くなって、さっきまで、見ていなかった、周りにある木や草や花が、とても美しく見えてきた。そのうち、歩くことの大変さを忘れて、周りにある自然を気持ちよいく感じるようになった。木々や激しくて大きな滝、深いエメラルドの様な青い湖、「きれいだなー。」「吸いこまれそうだなあー。」私はいままでこんな気持ちで自然や風景を見たことがなかったので自分でも驚いた。その時はなぜか大嫌いな虫も気にならなかつたし、寒いのも感じなくなっていた。山頂について皆でお昼ご飯を食べ終わった時、私は、「ああ、自然って思ったより悪くないな、むしろ素晴らしいな。」とっていた。

この乗鞍修学旅行で一番印象に残ったのは、乗鞍の美しい自然だ。私はそれに気がつくことができ、本当に良かったと思う。そして、この乗鞍の美しい自然を絶対に家族にも見てほしい。

## 私の輝いている気持ち

旅行中に「輝き」をテーマに写真を撮り、それについて説明する

9年 恵菜  
Ena

海辺を歩いていたら、太陽が水に反射してとても美しくその瞬間をこの写真に撮りました。写真では海水が輝いているように見えますが、本当はその場所自体が輝いていたので、写真に撮りました。海の風、温かい砂、まぶしい太陽、波の音、全体が輝いていました。じっと立っていると、波の音が音楽になり、太陽の日差しに心が暖められ、ゆったりとした気分になりました。サンダルをぬいだときに、暖かい砂が足のうらに当たった感触が忘れられません。冷たい足でこたつに入った時の感触と同じでした。また海の風で髪がみだれて良い気持ちでした。都会では体験できない気分でした。都会はごちゃごちゃしていて閉じこまっている気分になりますが、海では開放的な気分になって、気分も輝いているようになります。

私はこの瞬間を撮る前は輝きとは「もの」だと思っていました。たとえば、輝いてるパールや、キラキラとしている川だと思っていました。ですが、海辺を歩いて気持ち良い気分になったときに、この瞬間が輝いているとわかりました。輝きは見るとのものだけではなく、音でもあるし、感じることであることがわかりました。

私はずっと輝いているものを探していて、やっと見つけられてほっとしました。私は絶対にこの写真を使って、輝きを見せることにしました。

この写真は海の輝きではなく、私の気持ちの輝きです。



## 迷路

旅行中に「挑戦」をテーマに写真を撮り、それについて説明する

10年 花  
Hana



私にとって、修学旅行で臨んだ挑戦は、箱根彫刻の森美術館の迷路だった。そしてその挑戦は迷路そのものではなく、迷路が表していた意味だと思った。私が訪れたその美術館は今回の箱根の修学旅行のスケジュールの中でも最も期待してた場所だった。数々の彫刻に囲まれ、雄大な自然の中にある美術館のたたずまいはとても美しかった。この美術館で私が最も気に入った作品は、迷路だった。

黒い像と芝生で隠された迷路は、私を静かに待っていた。入ると、曲がり角がいくつかあった。私たちはまずグループで入ってみたが、独りずつ自分の道を選んで分かれて行くことにした。その日は雨が降りそうな天気、周囲は物悲しい雰囲気にも包まれていた。その上とても眠くて、あまり歩く気分になれなかった。でも迷路に入ってしまったら出られない。私は地面に座って寝たかった。

そこで私は迷路に似た「人生」について考察してみることにした。人生はいろいろな道、または可能性がある。その道の一つひとつを選ぶのは自分である。人はその選んだ道で、迷路を出るまで、またはゴールに着くまで歩き続けなければならない。しかし、その道を選ぶたび人は悩みを抱えることになる。「この道ではなくちがう道を選んでいれば良かったかもしれない。」と迷うことはよくある。道によって思わぬ展開がある。曲がり角が増えるたび、人の悩みはまた多くなる。立ち止まりたくなる。歩くのが嫌になる。しかし、止まっても無駄だ。例え一休みをしても、迷路は消えない。困難はまだ壮大な海のように広がっていく。休むことは一時的な解決である。人間は歩き続けなくてはいけない。

実際のところ、この美術館の迷路を出るのは難しくなかった。短くて、曲がり角も少なく、脱出することは簡単だった。あまりに簡単で眠気もさめずに帰ってしまったくらいだ。人生も、ともするとこんな風にあっけなく過ぎてしまうものなのかもしれない。でもそんな人生はきっと退屈であろう。

## これが日本！

旅行中に「これが日本！」をテーマに写真を撮り、それについて説明する

11年 ダーリア  
Darya



日本の首都である東京に住んでいる私たちは、日本のことを全部知っていると思いがちだが、実際には日本の伝統的な文化を知る機会が少なくなってきてしまっている。それゆえに、今回の修学旅行で白川郷を訪れ、改めて本当の日本の文化を見学できたことがとても嬉しかった。

白川郷に足を踏み入れて、ここがユネスコ世界遺産に登録された理由がすぐに分かった。白川郷は他の世界遺産とは全く違う保存方法がとられている。この地で生まれ育った普通の人々がこの世界遺産のなかに住んでいるのだ。つまり、世界遺産の中に住んでいる人の実際の生活を垣間見ることができるのが白川郷だけだということだ。例えば、他の世界遺産ならば博物館などに行って、ガラスケースの中に展示されたその古物や絵を見ることだけでその時代の人々の暮らしを想像しなければならぬ。しかし白川郷では実際に今そこで暮らしている人々と話すことも出来たし、どういうふうに住んでいるかがわかった。

私がこの写真を選んだ理由の一つ、白川郷に伝わる「結」という考えである。それは、「みんなをみんなが助け合っていく」という意味である。この「結」をベースとして町全体で古くなった合掌造りを30年に一回自分達の手だけで新しく葺き替えている。この「結」の考えは、とても日本人らしいと思う。なにがあっても日本人はいつもお互いを助け合い、自分のことより先ず他の人のことを考えているからである。白川郷を歩くだけで、人と人との絆が感じられる。例えば神田家や店で働いている人たちは常に笑顔で、観光客が来てくれることを喜び、嬉しそうだった。そして心から打ち解けて笑顔で話しかけてくれた。このおもてなしの心と、お客様に対する優しさはとても日本人らしいと思った。白川郷の町だけで日本人の優しい心とお互いに対する思いやりの心がとても伝わってきた。外国人観光客もきっと白川郷に来て「やっぱり日本人はとても良い人だな。」と思っているだろう。

白川郷は東京と全く違う景色だが、とても日本らしい雰囲気があり、今回の旅行で一番日本人の「心」が表されているところだったと思う。



## 広島への訴え

旅行中に「平和」をテーマに写真を撮り、それについて説明する

12年 詩瑛奈  
Shayna

高校生活最後の修学旅行は広島であった。沖縄でも、海外でもなく、なぜ高校3年生が広島に行くのか以前から疑問であった。しかし旅行中、私の中で答えが出た。歴史を改めて掘り下げ、将来平和を築き上げるのは私たちの年代なのだとは痛感した。

広島に着き、まず平和記念資料館に行った。展示物から原爆の残した跡を自分の目で確かめると胸が痛んだ。しかしそれより驚き、深く印象に残ったのは、そこにいたほとんどの人が外国人だったことだ。私たちを含めて、大半の人が日本語がわからなくても、展示物や音声解説で理解しようとしていた。そして資料館から出ると、たくさんの生徒が泣いていた。各々戦争への怒りや憎しみの気持ちが込み上がったのだろう。



続いて、平和記念公園に足を踏み入れた。言葉では説明できない空気の重さを感じた。70年前この地で起こったことをイメージしたら、想像出来ないくらい心苦しかった。

公園を歩き始めると、やはりたくさんの外国人がいた。カメラを片手に記念像を撮ったり、手を合わせたりしているところを見て、あることに気づいた。それは、平和は一個人がもたらすことではなく、世界中の人々、すべての人種が手を取って生み出すものだということだ。人々が協力して、お互いの人種の違いを受け入れることで世界は平和への道を歩むことができると思う。さらに、外国人が広島に足を運ぶことに感激した。日本の観光スポットというと、ほとんどは東京や京都を思い浮かべるであろう。そんな中、広島という歴史の転機となった地を訪れて、歴史を学ぼうとする外国人の姿に感動した。

日本は比較的平和な国である。しかし、他国に目を向けると平和だと断言することはできない。そう簡単に平和な世界は作れないかもしれないけれど、努力することは無駄ではない。戦後70年の節目の今年、「平和」は私たちの世代が背負う課題だ。核廃止活動など取り組めることをしようと思う。

# スピーチ



## 必死になること

11年 文子

Ayako

皆さんは、何かに必死になったことはありますか？ 私には、ありませんでした。私の周りには、大学進学をひかえ、友達と遊ぶ時間を削って勉強に打ち込む友達がいます。スポーツのために、食事制限をし、筋トレに励んでいる友達もいます。そんな友達を見ながらも私は、何かに必死に打ち込むことは疲れること、報われないかもしれないのに必死になるのは意味のないことと、心のどこかで思っていました。

でも、そんな私の考えを変えた映画があります。出会いは去年の秋でした。友達に「今の you にぴったりだと思う！」と薦められて見た、坪田信貴原作の学年ビリのギャルが一年で偏差値を40上げて慶応大学に現役合格した話、通称「ビリギャル」という映画です。その日帰ってすぐ検索して、深夜に部屋のベッドの中でふとんにくるまって見ました。涙があふれてきて心が大きく揺さぶられるのを感じました。自分のどこかが大きく刺激されました。もともとは名古屋市内の塾講師だった作者が自分の生徒をモデルにしたノンフィクション作品で、ストーリー投稿サイトに投稿したことから評判になり、2013年に書籍化され、後の2015年に映画化された作品です。タイトルの通り学年ビリだったギャルがある塾講師と出会い、高校2年の春から卒業までの一年で偏差値を40上げて目標だった慶応義塾大学に現役合格するというあらすじです。この作品の一番の魅力はやはり、主人公工藤さやか、登場する一人ひとりのキャラクターと切磋琢磨し、ぶつかり合いながらも共にゴールを目指す一生懸命な姿です。何事も必死にやれば、夢に近づけるという強いメッセージがその時の私の心に深く刻まれました。

私は、生まれてから17年間育ってきた環境のせいか全部ノリで通してきました。何かに必死に取り組んだことや周りが見えなくなるくらい打ち込んだと人に言うことがありません。それは、今まで必死にならなくても、あまり不自由がなかったからです。学校に行けば、たくさんの友達がいて、転校してもすぐに馴染むことができ、運動会ではリレーに選ばれ、家に帰れば「おかえり」

と温かく迎えてくれる家族がいました。だから、私の生活の中で、がんばる必要はなかったのです。例えば、テストでがんばれば満点がとれるはずなのに大体わかるから大丈夫だろうと思って勉強しないでいたら、小さなミスをして点数を落としてしまいました。昔から落ち込まない性格で細かいことをあまり気にしないのが私の長所でもあると同時に短所でもあります。

そんな私の目に、主人公が一つの目標に向かってがむしゃらに突っ走る姿はカッコよく、美しく映りました。同年代の主人公には、何が何でも慶応義塾大学に入りたいという強い意志があるけれど、私には未だ明確な目標がありません。でもこれを機にがんばろうという気持ちになれました。大学受験に保証はありませんが、それでも持っている力を振り絞れば、結果がどうであれ、達成感を味わえることに気づきました。どんな人でも頑張っていればその人は輝いて見えます。結果ではなく、精一杯がんばること自体が、価値のあることなのだと思いました。

この映画は一見、普通の青春映画に思われるかもしれませんが、努力は無駄にはならないという強いメッセージが込められていると感じました。私は、この映画に今出会えたことで今後の大学受験に対する思いが変わりました。もう少し時期がずれていたら、見方が変わっていたと思います。この映画を思い出すと、なんだかがんばろうという気持ちになります。がんばらなければ失うものがあるけれど、がんばっても失うものは何もない。何かを必死にやれば、見える景色が変わってくるのではないかとこの映画を通じて強く感じました。必ず死ぬと書いて「必死」。何かに死ぬつもりで取り組もうと考えさせられた映画でした。

## ペットブームの裏側

11年 安樹

Anju

「パピーミル」という言葉を皆さんはご存知ですか。子犬製造所という意味です。今日は、私のスピーチから、皆さんにこのパピーミルについて知って欲しいと思っています。

さて、私はこの17年間、ずっと犬と共に生きてきました。私が生まれた時には、すでに我が家にはゴールデンレトリバーがいました。そしてこの犬が亡くなった後もミニチュアダックスとトイプードルの2匹と一緒に生活しています。元々私の家族や親戚は動物がとても好きで、犬に限らず色々な動物を飼ってきました。私が人生を共にしている犬3匹たちは、皆ペットショップからやってきました。私たち日本人は大抵ペットショップで動物と出会い、買い求め、家族の一員にします。可愛らしい動物を飼った時の喜びと感動のあまり、ペットショップで買った動物がどこから来たのか、また売れ残った動物たちはどこに行くかなどという疑問を持つ人は少ないと思います。けれども私の心には、「ペットショップの前はこの犬たちはどこにいたのだろう。」「もし私たち家族に引き取られなかったらどうなったのだろう。」という疑問が浮かびました。そして、このことについて調べてみようと思いました。ペットブームといわれる今日この頃、ペットショップには可愛い動物を求めて多くの客が足を運びます。その舞台裏がどうなっているのかを知りたいと思ったからです。

まず、ペットショップにどうやって動物達が来るかということです。ルートは大きく3つに分かれます。ペットショップの自家繁殖、ブリーダー、そして冒頭にもお伝えしたパピーミルです。

一つ目のルート、ペットショップによる自家繁殖。これは、ペットショップが独自で繁殖、育成しているということです。つまり、ペットショップで生まれた動物が、そのペットショップで売られます。

二つ目のルート、ブリーダー。より良い質の種類を生み出し、維持させていくために動物を繁殖し、健康管理や予防接種などをきちんとして育成します。ブリーダーは動物の愛好家であり、単に利益のためでなく、愛情を持って繁殖育成しているといわれています。現に、ブリーダーはペットショップに販売する事はあまりなく、どちらかといえば個人に直接販売することが多いようです。

そして三つ目のルートが、パピーミルです。パピーミルでは、動物を物のよ

うに大量に繁殖させ、ペットショップに売り払ってお金儲けをしています。まさに名前の通り、子犬の大量製造所です。パピーミル内の動物達は皆窮屈なケージの中にとじ込められており、怪我をしてもほとんどは治療もされず放っておかれます。最低限の餌しか与えられず、ケージの中は糞尿まみれで掃除もされていないとても不衛生な場所に住んでいるのです。当然病気に感染している動物がたくさんいます。そして、このような劣悪な環境に生まれ育った動物達がペットショップへとやってくるのです。

さて動物達がどのようにペットショップにやってくるかはわかったところで、今度は売れ残った動物達がどこへいくのだろうかという疑問が残ります。あなたがもしペットショップに入ると、そこで見かけるのは、だいたい子犬や子猫ですね。手より少し大きいというくらいの動物達がお店のほとんどのスペースを占めています。この動物達は大概生後数ヶ月です。この時期の動物達は、見た目にもとても可愛らしく客の購買意欲を掻き立てる一番売り時と言われていきます。当然ですが、ペットショップの利益のためにこの大きさの動物が多く仕入れられるのです。

そしてペットショップをもう少しよく眺めてみると、その片隅にもう売り時が過ぎてしまったような少し大きいサイズの動物達が置かれているのを目にすることが出来るでしょう。彼らはそれでもまだペットショップに置いてもらえるだけ幸運と言えます。実は私の飼っているトイプードルもこのようにペットショップの片隅に居ました。明らかに他の小さな動物達とは扱われ方が違っていました。掃除もされていないケージに彼女はとても悲しい目をしてじっとうずくまっていました。当時、トイプードルはとても人気があり、店はたくさんのトイプードルで占められていました。可愛らしく無邪気に元気にいつも飛び上がっているイメージのトイプードルでしたが、私の見つけたプードルは、そんな私の認識を塗り替えるようなまったく違う様相でした。そして値札を見たところ、6万円と書かれていたのです。その頃、トイプードルは30万円や50万円という高値がついていました。6万円という値段に、ペットショップの「もう早く売ってしまいたい。」という気持ちがものすごく伝わってきました。まるで、賞味期限が近づいた食品が安売りになっているようなそんな感じを受けました。私と母はその子犬を放っておくことができず、連れて帰ることにしました。連れ帰った後、よく見るとその子犬の顎はしゃくれている、そのうえすぐに病気にかかってしまいました。この出来事で、多くのペットショップには、もうあまり利益のでない商品として放っておかれる動物達がたくさんいるのだということを知りました。

このプードルは偶然にも私たちの家族になることができました。けれども、もしペットショップの動物達が売れ残った場合は、保健所や動物愛護センター

に送られたり、パピーミルへと戻っていくのです。もちろん、良心的なペットショップでは、売れ残った動物達のために全力で里親を探す努力をし、また、店員か知人が引き取る場合もあります。しかしパピーミルに戻された多くの動物達は、また過酷な扱いを受け、製造所の繁殖用の親になります。また、保健所や愛護センターへと渡った動物達は、そのまま保護されるものもいますが、ほとんどのものは、殺処分されます。製薬会社や獣医のところに、実験の検体として引き渡されることもしばしばあります。

このような事実を知り、私はどうやって動物達がペットショップに来るのか、そして売れ残った動物達はどこに行くのかという疑問への答えを少し把握することができました。無邪気に可愛らしく遊び、昼寝をし、お客の心を掴んでほさない動物であふれるペットショップの舞台裏には、ともすれば残酷で悲惨な事実が横たわっているのです。ではそんな悲惨な環境に動物達を置かないために、私たちはどのようにその問題を解決したらよいのでしょうか。もし、犬でも猫でも、何か動物を家族の一員に迎えたいと思ったら、まずは保健所の動物達を飼うというのも一つの選択肢です。保健所には飼い主の見つからない、あるいは飼い主から見捨てられた動物達がいます。その動物達は雑種であることも多いでしょう。そのような動物を家族に迎え愛情を注ぐことが出来れば素晴らしいと思います。私のクラスメイトも、保健所から迎えた犬をととても可愛がっています。動物を飼うということは、動物を過剰に飾り立てて、まるでブランド商品を持ち歩くかのように他人に見せびらかすことではないのです。優良品種でなくても、あるいは顔立ちが少し劣っていても、五体満足でなくても、その動物という存在を尊重できること、責任を持って慈しめることが、生き物を飼うという本来の姿勢だと思います。だから、私は、ペットを飼うと家族で決めた時に、保健所の門を叩いたという友人とその家族をととても誇りに思います。私も、もしいつかまた新しい動物を家族に迎え入れる時には、保健所を訪ねたいと思います。

では、ペットショップでは買ってはいけないのでしょうか。そうではありません。もし、ペットショップで動物を探す場合は、是非良心的なペットショップを選んでください。そして、ペットショップの店員にどこからきた動物達なのか聞いてみてください。もしその店員達が、販売している動物の親をはっきりと客に見せられない場合や、何かを隠している場合は、そこにいるのは大抵パピーミルから仕入れた動物達だと思って間違いありません。そのような良心的でないペットショップで動物を購入しないことが大切です。善良なペットショップを選ぶことを人々が心がけていたら、結果的にパピーミルは儲からなくなり、廃業に陥ることになるでしょう。保健所や愛護センターでの殺処分も少なくなるわけです。まずできることはこのパピーミルという、残酷なサイクル

を止めることです。

皆さんも、是非ペットショップの現実を見てください。ペットショップへ行った時、たくさんの可愛らしい動物達があなたを迎えてくれるでしょう。そしてあなたはそこにいる動物達のつぶらな瞳に惹かれ、すぐに「よし、この子を飼おう。」と思ってしまうでしょう。でもちょっとそこで立ち止まって欲しいのです。あなたはその動物達をきちんと理解していますか。責任を持って愛情を注ぎ世話を続けられますか。また、これらの動物達がどこから来てどこに行くのだろうかと思像してください。そして、動物達を利益目的で製造し、必要がなくなれば廃棄するようなパピーミルという組織に厳しい目を向けてください。みなさんが一人ひとり、ペットショップの現実を知ろうとすることで、多くの動物達は救われると私は信じています。

## 自分を愛する

12年 京  
Miya

「Love yourself」自分を愛す。人間という存在の大切さを示すため、自分を愛するということが今、世界中で話題になっています。多くの俳優や活動家たちも口を揃えて、「自分を愛しなさい。」と発言しています。けれども、カトリックの学校で教育を受け、自分のことよりもまず隣人を愛し、大切にすることが大切だと教えられてきた私にとって、自分を愛するという言葉は、聞き慣れない言葉であり、素直に共感できるような言葉ではありませんでした。

昨年秋、私は同級生と共に大学受験を始めました。インターナショナルスクールに通う私たち生徒の選択は皆それぞれに国際的でした。けれども、大学や大学のある場所や国が異なっても、大学から与えられたエッセイの課題の一部は、どれも共通していました。それは、「なぜ君はこの学校にふさわしいのか。」とか「君はどの様に特別なのか。」というようなことを私たちに問うものでした。そしてこれらの課題では、自分自身の素晴らしいところを並べ立ててアピールしなくてはなりません。まるで、これが欲しいわとお客さんに買ってもらうために、美しく飾り立てて並んでいるお店の陳列棚の商品のように、



大学側に一生懸命自分を売り込まなければならないのです。私にとって、大学受験のプロセスの中で、エッセイを書くということが一番の困難でした。

私はエッセイを書き出そうと思いながら、何時間も真っ白い用紙を見つめていました。そして、いつまで経っても字を書き進めることが出来ませんでした。

「なぜ、私は私自身をうまくアピール出来ないのだろう。」「積極的に自分を売り込む言葉がなぜ出て来ないのだろう。」「どうしたら、大学に私を魅力的に見せられるのだろうか。」と何度も思い、悩みました。そして、もしかしたらこれらのエッセイは、自分を愛していないと書けないのではないかと考え始めました。

私は特別に自分を嫌いだとか、愛していないとは思っていません。あらためて自分のことを好きかどうかと自分自身に問いかけてみたことはありませんが、バーナル京という自分がある程度気に入ってはいます。だからと言って、堂々と私は自分を愛しているとは、面と向かって、あるいは大声で他人に言えなかったのも事実です。それはなぜだったのでしょうか。そう考えた時、それは日本の社会や文化の影響なのではないかと思ひ付きました。日本の社会では、自分の実力を自ら見せびらかすことは好ましくないとされています。人は静かにコツコツと勤勉に勉強したり働いたりして、地道な努力をすることで自然に社会や他人から認められるのが美德であって、出しゃばったり必要以上に自分を大きく見せて周りから認められようとするのは奥ゆかしくないことだという考え方があります。この考え方は、日本人の謙虚さを表していて、決して悪くない考え方であると私も思います。自分のことをへりくだり、間接的に相手を高める謙譲語という敬語が日本語に存在するように、日本人は、他の国の人々に類をみない謙虚さを持っているのです。その謙虚さは、日本人が自分自身をすすんで評価することよりも、他者から認められるのをじっと待つという行動様式を生み出しているのです。

これは日本の大学受験制度からもわかります。日本は大学に入るための試験を受け、たった一回の試験の結果で合格か決まります。どれだけ自分がその大学にふさわしいと思っていても、試験で失敗したら不合格になります。日本の大学が生徒の合格を決める手段は、地道に努力して勉強した結果の点数であり、生徒にとってはとても受け身の制度です。

一方アメリカでは大学に自分の素晴らしさを売り込み、自分の自信のあることはおおいにアピールし合格を勝ち取ります。このことは、アメリカ社会のものの考え方を反映しています。アメリカ社会では、自分は特別であると思っている人が多いようです。それは、アメリカ人は、幼い頃から自分自身を誇りに思うことを教わっているからです。つまり、自分を愛することをとても大切にしているのです。アメリカ人にとって、他人を慮って卑下することなどは考えもしないことなのです。

私は日本人の母とアメリカ人の父との間に生まれたハーフです。両方の国のものの考え方を今まで父母から受け継いできましたが、大学に提出するエッセイを書こうとしている時には、明らかに日本社会で育ってきた影響を受けているのです。私の中にある、日本人特有の考え方、謙虚さが、エッセイを書く手を鈍らせていたのです。私は、日本人の美德である謙虚さという壁をなんとか打ち抜いて、私なりに積極的なエッセイをやっとの思いで書き上げました。

けれども、この日本人とアメリカ人の考え方の違いによる自己表現の課題は、大学受験が終わればそれでおしまいということではありません。私はもうすぐ大学生活を送るためにアメリカに住むのです。私は、自分を愛していることを堂々と言える人たちに囲まれることになるでしょう。そのような環境で新しい友達を作り、生活していくこととなります。日本人特有の謙虚さのために自分をアピール出来なければ、周囲の人々に認めってもらうことは難しいでしょう。ましてや将来アメリカで働いていくのなら、堂々と自分を主張できる人間が好まれ、私のような日本人気質で遠慮ばかりしていたら、会社の底辺におしやられてしまうかもしれないのです。

このように考えると、自分を愛するという、今まで自分が意識してこなかったことを、自分の将来のために積極的に受け入れ始めなくてはと思いました。けれども、どうやって、自分を愛していると心の底から言えるようになるのが課題です。幼いころから受け続けていた日本の影響で形成された自分自身の人格は簡単に変れません。そして、正直なところ、私は日本人のもつ謙虚さも、自分自身の中に持ち続けたいのです。

そんな時、あるご夫婦の話を知りました。妻は日本人で、夫はアメリカ人です。アメリカはLady Firstを大切にしています。アメリカ人の夫はいつも妻を先に歩かせ、先に座らせてくれるそうですが、日本人として育った妻は、そのことが申し訳なく気が引けてならなかったそうです。そこで、ある時、妻は夫に、「私はいつもあなたの先を歩きますが、心の中ではいつもあなたを尊敬し、あなたの三歩後ろを歩いていることを忘れないでください。」と言ったそうです。この話を聞いて、私はなんとかして日本人としての謙虚さを持ちつつ、アメリカ人としての自己主張をしていけたらと思うようになりました。

私は今、毎日一つ自分に褒め言葉を言うということや、困難なことを克服出来たら自分に小さなお褒めをあげるなどのことをしはじめ、将来自分は自分を愛しているのだということを堂々と表現出来るようになろうと決めました。そして同時に、自分を褒めるには、やはり見せかけでない、真実が必要だとも思っています。中身の伴った自分を形成するには、やはり地道な努力も必要なのです。だから、どんなに自分を素晴らしいと思うようになったとしても、母の国からいただいた謙虚さという美德も忘れないでいたいと思います。

将来、アメリカ人だからとか、日本人だからなど、国や文化の関係なく、世界中の人々の愛している物のリストの中に、自分自身があるのなら素晴らしいと思います。「Love yourself」—自分を愛すること—これが言えるようになることは、自分を成長させることであり、とても大切なことなのだと今は思っています。

## 本当の強さを知ったとき

12年 倫子

Rinko

私達の日本語のクラスでは、「山月記」という短編小説を勉強しました。これは、天才と呼ばれていた李徴が、知らず知らずのうちに、己の過剰な自尊心と羞恥心から自らの破滅を招き、人間から猛獣へと化してしまうという話でした。私はこの作品を読んだとき、主人公李徴の中に自分を見た思いがし、ハッとさせられました。今日は私が、李徴のように、過去に自分の抱く自尊心や羞恥心によって打ちのめされた時のことを、お話したいと思います。

幼少期からからつい昨年まで、私はいわゆる「優等生」でいることが大好きであり、周りの人から「完璧」と思われることに強く執着していました。幼い頃から既に存在していた私のプライドは、知らぬ間に私を見栄っ張りな人間に成長させていたのかもしれませんが。それを思い知ったのは4年前、全く英語の話せない状況でアメリカへ渡った時のことでした。現地の学校で私は、英語が流暢に話せないことに対し今までにない大きな劣等感と羞恥心を抱くようになりました。悔しくてがむしゃらに勉強し続けた結果、再び自分の理想とする「優等生」までのぼりつめることに成功しました。しかし、異国の地での成功は私のプライドをさらに増長させることとなったのです。

そして私は11年生で、国際バカロレアのみを行う香港の進学校に転校します。英語を話し始めてまだ2年たらずの私には、これは無謀な挑戦であり無論理想

の成績は全く取れなくなりました。そんな成績を受け入れられなかった私は、さらに自分を追い込むようになり、ついには精神のバランスを崩し始めました。過度なストレスから外見はぼろぼろになり、食べ物をもどすようになり、最後には鏡に自分を写すことも恐ろしくてできなくなりました。そして昨年、内面と外見両方の自信を喪失したまま日本に帰国した私は、間もなく家の外へ出ることにすら恐怖を感じるようになりました。完璧でない自分を人の目にさらすのが堪えられなかったのです。見るに見かねた両親は、ついに知人の医師のもとに私を連れて行きます。そこで私はついに、適応障害という過度の完璧主義によって引き起こされた病気であると告げられました。この時私は、病名がついたことで、長年こだわり続けた「完璧な自分であること」との闘いがやっと終わったような気がして、胸を撫で下ろしました。

こうして「山月記」の李徴と自分を重ね合わせた私ですが、ある一つの大きな違いに気がつきます。それは自身の破滅を感じた時、私には、本当の自分を愛し、信じ続けてくれた人、母が隣にいてくれたことでした。母は泣き続ける私に、「絶対大丈夫。」と言って私を離しませんでした。見た目がポロポロになった私に、「綺麗だよ。」と言いつけてくれました。それでも、夜寝室から突然聞こえてくる母のすすり泣き、時おり真っ赤に腫れていた母の眼を思い出すと本当に胸が痛みます。しかし結果として、私の中に大きく存在していた猛獣、すなわち「臆病な自尊心」と「尊大な羞恥心」と闘い、私を救い出してくれたのは、紛れもなく大好きな母だったのでした。私はそんな母を思うと今でも感謝の涙が止まりません。

3年前、私はある先輩にこういわれたことがありました。「倫子ちゃんは挫折をまだ味わってないんだよな。だからそんな能天気でいられる。でも倫子ちゃんみたいな子はいざ壁にぶつかった時に大変なことになるよ。」私は、なんて意地悪な人なんだろうと思いました。同時に、いつその「壁」とやらにぶつかることになるのかビクビクしていたのも事実です。結果として私はその一年後に挫折を味わい、過剰な自尊心のために、どうしようもない状態に陥りました。けれども私は、挫折を味わったことを本当によかったと思っています。失敗知らずだった私は、プライドが高いだけで虚栄心に満ち、本当に臆病な人間でした。本当は自信がないのに、完璧に見られたいという醜悪な欲望にとらわれ、失敗して恥をかくことを恐れるばかり。そんな生き方をしていた私の中

に、人間としての強さが生まれるわけがありません。一度の挫折をまず乗り越えた今、私のテーマは強くなることです。才能に恵まれた聖心の皆さんと過ごす毎日の中で、私の中に劣等感そして羞恥心がいつまた育っていくかわかりません。けれども私は、自分の中に真の強さを見いだすことで、これらの猛獣にはもう絶対に負けるまいと思うのです。

## 数学と私

12年 莉奈

Rina

数学、それは大抵の人が嫌っている教科と言っても過言ではないだろう。ウィキペディアによると数学とは量、構造、空間、変化などを研究する学問である。しかし私は数学という教科は、数や方式など学問的なことだけではなく、私たちが人生に必要な能力を養える科目だと思っている。

私の周囲では、ほとんどの人が数学を嫌いだという。なぜなら、「数学は将来なんの役にも立たない」からだそうだ。しかし、私は数学が一番好きな科目である。大抵の人はこれを聞くと、私のことを頭が狂ったか、天才児だと勝手に勘違いする。しかし私は自分自身を、狂っているとも天才児だとも思ったことは一度もない。私は、生まれつき数学が得意でもなければ、毎回テストで100点を取るような生徒でもない。文系と理数系だったら理数系なのかもしれないが、特にずば抜けている天才的な能力はない。しかし、私は数学が好きだ。数学を学ぶにつれ、魅力を感じるようになった。それは、私と数学が似ているからである。

人間と数学が似ている？私も最近までこの意味を理解することができなかった。しかし考えてみると、数学の問題を解くために必要な考え方は、私の思考回路によく似ていた。私の思考回路は数学のように論理的だ。ある目的地に到

達するまでのはっきりとしたステップ、そして最終的に求めたいものが頭の中できちんと把握できるまでは、行動を起こさない。中途半端や曖昧なことが嫌いな私は、最終的なゴールは明確でないと気が済まない。これは数学の問題を解くのとても似ている。数学では、どの問題にも答えは一つしかない。その答えを求めるために、目の前に実際にはないものを、頭の中でイメージして順序を立てて考えることが必要になる。また、法則や定理に従って問題を解くのは各自の応用力が試される。このように私は数学を学ぶことにより、私たち人間の思考能力の幅を広げる力が養われると思うのである。ただの数字を図形やグラフで表現したり、常識を超えたことについて考える力を養え、またそれを学び実践する機会は、数学にしかない。この能力は、将来社会に出るにおいて必要不可欠な力だと思う。

こういう考えを持つことにより、私は数学に、より興味を持つことができた。クリエイティビティに欠ける私は、歴史の事実を暗記することや、国語における筆者の気持ちを考えるといった、答えが曖昧でたくさんあるような問題は嫌いだ。普段の生活をしていても、理由もなく物事の順序を変えたり、直感で何かをやろうということはできない。今の私があるのは、数学で鍛えられた分析力や応用力や行動力があるからだ。将来必ずしも、微積分学や代数学が役に立つとは思わない。しかし、そういう一見役に立ちそうもない問題を解くことによって養われる能力が人生で役に立つのだと思う。数学が苦手や嫌いな人も、見方を少し変えることによって数学の楽しさがわかるかもしれない。またそれをきっかけに人生に今まで見えていなかったものが見えてくるのかもしれない。

# さくらメダル感想文

国内インターナショナルスクール  
さくらメダル感想文コンテスト

聖心インターナショナルスクール代表応募作品

低学年の部（小1～小3） 5名

高学年の部（小4～小6） 5名

## 『しんかんせんでビューン』をよんで

2年 友紀

Youki

『しんかんせんでビューン』をよみました。わたしは、けんたのことかっこいいと思いました。だってしんかんせんにひとりでのれるからです。わたしがはじめてしんかんせんにのったときは五さいくらいでした。けんたとおなじできっぷをなくしそうになりました。お母さんがひっしにさがしました。きっぷがあったとき思わず「あったー。」といいました。すごくほっとしました。

けんたとおなじ気持ちになったところは、けんたがどのしんかんせんにのるかわからなくなったところです。お母さんといっしょにえきちょうさんにききにきました。そのときとてもドキドキしました。わたしはけんたみたいに、ひとりでしんかんせんにいつかのりたいです。

## 『りきしのほし』をよんで

3年 華実

Hanami

『りきしのほし』という本を読みました。このお話は、かちかちやまというおすもうさんの、すもうべやでのつらい練習の毎日がえがかれています。かに歩きで土俵の周りを歩いたり、おもそうなタイヤをおしたりする練習です。

この中で、一番すきな場面は、さいごに大きくて強そうなりきしに、かったところです。今までの練習のかがあってよかったです。わたしの一番すきな絵は、がんばって強くなろうとしていた場面の絵です。頭の上で火がもえているみたいに見えます。

わたしは、ピアノをならっています。わたしも、毎日くろうして練習をしています。一年に一回、ピアノのはっぴょうかいで、どれだけ練習したか、ひろうしています。この本から学んだことは、どんなことでも練習をしないと、うまくならないということです。かちかちやまは、練習をして、すごく強いりき



しになりました。

わたしも、ピアノをがんばって、上手にひけるようになりたいです。

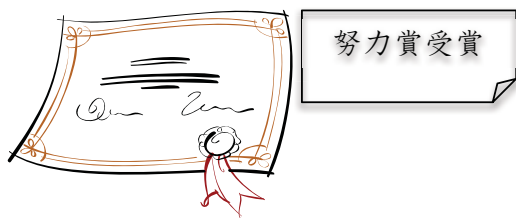
3年 ソフィ ゆら  
Sophie

『りきしのほし』という本をみんなでよみました。おすもうのはなしです。かちかちやまというおすもうさんが、がんばっていて、いろいろなしゅぎょうをしています。おすもうさんたちは、銀か金のベルトをめざしています。大きいベルトです。

すきなばめんは、おすもうさんたちがごはんを食べるときに、「めしだーっ！」というところです。なぜかというと、とても男らしく聞こえるからです。そして、おすもうさんがお花に毎日水をあげているばめんの絵がすきです。どうしてかというと、お花の絵がとてもきれいだからです。

かちかちやまと自分の毎日は、ちょっとにしています。わたしとわたしのお兄ちゃんは、サックスのしゅぎょうをしています。いい音を出すために、いっしょにれんしゅうをします。

この本をよんで、学んだことがあります。なにかをやめたいときが、みんなもあるとおもいます。でも、あきらめずにさいごまでやれば、かならずできるようになると思います。だから、わたしもサックスをあきらめないでさいごまでつづけたいと思います。



3年 恵麻  
Emma

日本語のじゅぎょうで、先生が『りきしのほし』を読んでいる時、わたしの心はドキドキしていました。なぜなら、その週末にクラスメートのキャリーの家ぞくといっしょにすもうを見に行くやくそくをしていたからです。キャリー

の家ぞくは全員すもうのファンです。わたしがテレビで少しだけしか見たことがないすもうを、アメリカ人が好きだなんて、なんだかびっくりしました。

両国国技館につくと、どう場人物のかちかちやま、ただのかわ、くりにしきのような大きな大きな男たちがたくさんいました。本番が始まると、すごいはく力でおどろきました。おすもうさんとおすもうさんが体をたたきあう音がはっきりときこえてきました。あまりのはく力に、けがをしたりしないか、しんぱいになりました。本に出てくるかちかちやまが、休けい時間にお花に水をあげていたことを思い出して、はげしくたたかっているおすもうさんだけど、かわいらしいところもあるなど思いました。だんだんおすもうさんたちが、大きな赤ちゃんみたいに見えてきました。

私は毎日ちゃんこは食べないけれど、毎日おすもうさんのように、はげしいけいこはしています。私のけいこは、日本語と英語を使ってべんきょうすることです。本当にむずかしくて、なみだが出たりする時もあるけれど、おすもうさんたちのがんばりを見て、わたしもはげまされました。

3年 春花  
Haruka

みなさんは、『りきしのほし』という本をしっていますか。この本は、かちかちやまが、すもうのけいこにまい日いき、だんだんつよくなっていくおはなしです。

わたしは、かちかちやまみたいに花が大好きです。なぜなら、花はすごくきれいで、しゅるいがたくさんあるからです。でも花は、まい日水をあげないとかれてしまいます。花とおなじように、あきらめなかったら、ぜったいさいごにはいいことがあるとおもいます。

この本をよんで、わたしは、ぜったいにあきらめないということを学びました。わたしのまい日は、ならいごとでいっぱいです。でもバレエでは、がんばったらオーディションにうかることができました。みなさんもぜひこの本をよんでみてください。

## 『さくらのりゅう』を読んで

4年 陽美  
Harumi

ある村でコイシという女の子が一人ぼっちでくらしていました。ある日小さいみでりゅうに会い、友だちになりました。コイシがりゅうに、ひろったさくら貝をもっていくと、りゅうが青いうろこをくれました。つぎの日、わるい村の男たちは、そのりゅうのうろこをぜんぶとってにげて行きました。これを見ていたコイシはふかくなしみました。でも、コイシの足もとにあるさくら貝をりゅうのからだにつけてみると、りゅうはさくら色になり、コイシをのせて天にむかって行きました。

わたしにとって一番いんしょうにのこった場面は、コイシとりゅうが天にのぼって行くところです。それはなぜかという、りゅうはコイシがいつも一人ぼっちでくらしていてかわいそうだと思っていたから、わるい村の男たちにとられてしまった青いうろこのあったところに、さくら貝をつけてくれたコイシに、おれいの気持ちでいっしょに天にのぼって行ったのだと思ったからです。

わたしの一番すきな絵は、りゅうとコイシがみまわりのまわりにはすわっているところです。そのりゅうは、ふかい森のおくの色がとてもきれいに見えるからです。そして、その絵の中のふたりのようすから、はじめて会ってからすぐになかがよくなって、これからはずっといっしょにいるんだなという思いがたわってくるからです。

もし自分がコイシと同じように村の人からやくにたたないと言われてさみしくくらしていたら、青いりゅうと友だちになりたいと思います。でも、りゅうからもらったうろこを、「それはなんだ。」と村の男にきかれた時、わたしなら「青いかいがら。」とうそをつくと思います。なぜならば、りゅうのことをひみつにしたいからです。そして、友だちとしてりゅうを村の男たちからまもりたいからです。

また、わたしがコイシでも、やはりこの村からはなれて、りゅうといっしょになかよくくらしたいです。でも、さくら貝をつけたさくら色のりゅうではなく、青いりゅうといっしょに天にのぼっていきたいです。

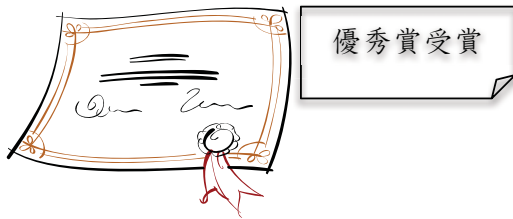
この本の中では、コイシと呼ばれていたむすめが泉で青いりゅうに出会います。その後、コイシはりゅうと仲が良くなり、りゅうにさくら色の貝をあげ、お礼にりゅうは自分のうろこを一まいあげました。コイシはそのうろこを持って帰るとちゅうで村の男に見つかったので、りゅうが泉にいたことがばれてしまいました。そして、りゅうのことを知った村の人々は、さくら色の貝を集めて、かわりにりゅうのうろこを手に入れようとなりました。そのために、りゅうのうろこは全てとりあげられてしまいました。うろこの無くなった死にそうなりゅうの体に、村人から投げつけられて地面にちらばったさくら色の貝をコイシがつけたので、りゅうはさくら色のりゅうに変わりました。そしてさくら色になったりゅうはコイシをつれて、空に飛んで行きました。

このお話の中で一番印象にのこったところは、村の男に、「りゅうを呼べ。」と言われた時、「いやだ。」と言ってコイシが口をぎゅっと閉めた場面です。「りゅうを呼ばないとひどい目にあわすぞ。」と言われているのに、それでもりゅうを呼ぼうとしなかったコイシの、「りゅうを守るためなら何でもがまんでできる。」というような気持ちが伝わってくるからです。私だったら、「したがわなかったら何をされるだろう。」とこわがって、すぐに男の言うとおりにしてしまうと思います。こう考えると、ますますコイシはやさしくて強い子だと思います。

この本は、絵も本当にきれいにえがかれています。私が特に好きな絵は、コイシはりゅうと初めて出会って、りゅうをなでている絵です。りゅうのことをちっともこわがっていない、コイシのやさしくて勇かなすがたがえがかれているからです。それに、りゅうの青い色が光っていて、とてもきれいにうつっているからです。

もし私がコイシだったら、りゅうのことをこわがって、なかなか近づけないと思います。しかし、コイシは全くりゅうをこわがらず、むしろりゅうをかわいがっていました。こういうところからもコイシの心のやさしさが伝わってきます。コイシはりゅうとなかよくなってからずっと、りゅうに愛じょうをあたえ続けました。そんなコイシに私は感動しました。

コイシを知る人々は、「やくにたたない、こいしのような。」とコイシのことを言っていました。それはちがうと私は思います。コイシはりゅうの命を救った、強い心を持った女の子です。



## 『明日の子供たち』を読んで

— 児童養護施設に対する世間の偏見 —

6年 里紗

Risa

この本に出てくる奈子という女子高生は、施設に住んでいます。奈子はとてもしっかりしています。お金に対する考え方は大人のように、私の考えと全く違います。私はまだ小6だけれども、きっと奈子のように考えるにはもっと時間がかかると思います。奈子は、施設に負担をかけないため、大学も寮があってなるべく学費の安いところを選んでいきます。きっと、奈子は幼い頃から頼れる親がいなかったため、自分で色々なことをしてきたからだと思います。

この世には、奈子みたいな人が沢山いると思います。しかし、実力があるのに施設出身だというだけで、アルバイトや仕事が見つからないことがあります。私はこういうことがあってはいけないと思います。なぜなら、人々は施設の子供のことを可哀想だと言うのに、実際には、何か問題を起こすのではないか思っているのですが、それは偏見だからです。こういうことは仕事探しの場だけで起こることではありません。この物語の中に、もう一人の女子高生がいます。その子は友達が出来なくなるのを心配して、施設に暮らしていることをクラスメートに明かしていないのです。私は、これを社会からの差別だと思いました。これからそのようなことがないように児童養護施設の子供達を差別せずに扱って、施設から出て行ってもちゃんと仕事や進学ができるようにサポートするべきだと思います。

そして、この地球から虐待や育児放棄がなくなって欲しいなど『明日の子供たち』を読みながら思いました。なぜなら、奈子や他に施設に住んでいる子供達は多くが親から暴力を受けたり、放棄されたりしているから施設に入ったか

らです。もし、そんなことをされていなかったら好きな大学にも行けたかもしれません。しかし、幼い頃から暴力を受けていると、大人を信頼できなくなります。例えば、本に出てくる奈子は物語の最初に、新しい児童養護施設の先生が信頼できる人かどうか確かめていました。私だったらそんなことはこれまでの人生の中で一回もしたことはありません。そしてこの先もやらないと思います。

最後になりますが、この本を読む前、私は児童養護施設の子供のことを可哀想だと思っていました。でも、そのような私の考えには「私は幸せでよかった。」という意味が隠れていたことに気づきました。ただの同情は何の意味もないと思います。そして、現在児童養護施設や施設をサポートする会社などが今いろいろと困難な状況にあるので、私はこれから施設を支援できることがあればどんな小さなことでもしたいと思っています。

## 『先生、しゅくだいわすれました』を読んで

6年 ころこ

Cocoro

この物語は、毎日生徒たちが宿題を忘れる話です。とても面白かったのはみんなが宿題を毎日忘れても、先生が怒らなかったことです。私は、「えりこ先生って、個性的だな。」と思いました。なぜかというと、普通の先生だったら怒るに決まっているからです。私の学校では、宿題を忘れると、休み時間に宿題をやるように先生に言われます。でも、この本のえりこ先生は全然違います。えりこ先生は本当の理由を聞きません。生徒は本当の理由を言わなくてもいいのです。そのかわりに、宿題を忘れたら聞いている人が笑ってしまうようなおもしろい理由を考えて、それを話さないといけないと言いました。宿題をやらなくても面白い物語を考えるのも勉強だから、それはいい方法だと私は思いま

した。生徒は、いろいろな事情で宿題を出せないのだから、理由を聞かれるのは本当に困るのです。だから、本当の理由を聞かない先生はいい先生だと思いました。先生が、生徒たちの気持ちを考えることは大事だと思います。

最初に宿題を忘れた生徒は、ゆうすけ君という男の子です。えりこ先生に、「何で宿題をやるのを忘れたの？」と聞かれても、ゆうすけ君はうまく答えられませんでした。本当の理由は前の晩、家に帰るのが遅くなってゆうすけ君は朝クラスで宿題をやりようと思っていたのに、友達にサッカーにさそわれて、すっかり忘れたからなのです。先生はウソをついているのに気づいたので、「ゆうすけ君、宿題を忘れた理由を言うんだったら面白い理由を言わないと。」と言いました。私もゆうすけ君みたいに宿題を忘れていづらい理由を言わなくてはいけなかった経験もありましたけど、面白い理由を言わないといけないと先生から言われたことはないです。このところを読んで、「そういう先生がいたらいいな。」と思いました。考えてみれば、別にルールを守っていないというわけではないと思います。

えりこ先生のクラスはだれもストレスを感じないので、最高だなと思いました。なぜかというと、宿題が多すぎて全部できなかった場合、無理をしないで面白い話を作るだけだからです。最近ニュースでも、生徒たちの宿題が多すぎて寝る時間が足りなくなると聞くこともあります。だから、そんなに生徒を苦しめる先生に比べて、えりこ先生は生徒をよく理解する先生だと思います。先生の生徒の中には、物語を考えるのをいやがる人もいました。でも、毎日誰かが宿題を忘れないといけないと先生が決めました。

一番本の中で好きだったところは、えりこ先生が宿題を出すのを忘れたところです。えりこ先生も面白い理由を言いました。すごく可愛い先生だなと思いました。この物語が伝えようとしているのは、結果的には宿題を忘れても理由をちゃんと言えば先生が分かってくれるというメッセージだと思います。

## ケイタのおもいでのおに祭り

6年 貴蘭

Kiara

わたしは、『おに祭りの夜』という本を読みました。ケイタは、主人公の男子です。バキは、ケイタの友達のおにです。わたしがこの本を読んで思ったことは、おにはみんなが思っているよりやさしいということです。今まで、せつ分の日には豆をまいておにを家からおい出していたので、みんなおにをきらっていると思っていました。そして、わたしがしているお話の中ではおにがいつも悪人でした。でも、このお話を読んでおにと友達になれると思いました。

せつ分の夜にバキが友達を探しながら歩いていました。バキはケイタに気づき、手を引っぱってそのままおにたちがいる山につれて行ってしまいました。その山の上には、色々な色のおにがいました。おにたちは、みんなケイタのことをかんげいしました。そして、おに祭りが始まりました。おにたちは「せつ分、おめでとう！」と言って暗やみから出ることができました。ケイタは、「冬は、外！」「春は、内！」と言いながら豆をまきました。おにがわらっているところをみて、わたしはおにはこわくないと思いました。おには、春をよんでくれる神様かもしれないと思いました。

ケイタが、ベッドの中で目をさましたとき、まどに「また、らいねん！」と書いてありました。私は、そのときゆめじゃないと気づきドキドキしました。わたしはケイタが目をさましたとき、山の中でおにたちとやったことをわすれていたほうがおもしろいと思いました。なぜなら、わすれていたほうがもっとふしぎで読しゃが本を読んでいるときにもっと楽しめると思ったからです。せつ分の日、2月3日です。この日の夜わたしはまどの外を見てバキがいるか見ます。もしいたら、わたしはどんな友達ができるのか、どんな物を食べるのかを想像します。



## 編集後記

The 2015-2016 school year has been a successful one for the students in the Japanese program at Sacred Heart. Under the dedicated and hard working guidance of their teachers, the girls have all made significant progress with their Japanese language skills and have improved their Japanese level. Their hard work deserves to be recognized and this booklet provides a wonderful opportunity for them to be able to showcase their talents. I appreciate the effort the girls have made and hope that you will enjoy reading their work. Thank you to all of the teachers in the Japanese Department for being so patient, for setting a high standard for the students and for helping them to reach it. Happy reading!

Margaret Griffiths  
Middle School Principal

2016年8月

### 日本語科教員氏名

稲葉真理子	ヴィジル裕子	小穴美華	熊本愛子	高木眞美
田島与子	細井洋実	森浩子	劉治子	

### 『聖心インターナショナル』第34号 2016年8月発行

発行者	東京都渋谷区広尾4-3-1 聖心インターナショナルスクール
編集・印刷	聖心インターナショナルスクール 日本語科
表紙デザイン	11年 ジュリア くら Giulia